

1 . 身体障害者の状況

(1) 基本的な属性

性別、年齢

あなたの性別と年齢をお答えください。

対象者の性別は、男性が 49.4%、女性が 47.0%である。

65 歳以上の高齢者が約 6 割 (60.4%) を占めており、平均年齢は 66.4 歳である。年齢を性別にみると、高齢者の占める割合は、男性に比べて女性のほうが高く、平均年齢も 3.6 歳、女性が高い。

対象者の性別

| | N | 男性 | 女性 | 無回答 |
|-------|-------|------|------|-----|
| TOTAL | 2,434 | 49.4 | 47.0 | 3.7 |

対象者の年齢

| | N | 0-17 歳 | 18-39 歳 | 40-64 歳 | 65 歳以上 | 無回答 | 平均 |
|-------|-------|--------|---------|---------|--------|-----|--------|
| TOTAL | 2,434 | 1.8 | 5.1 | 27.1 | 60.4 | 5.5 | 66.4 歳 |
| 男 性 | 1,202 | 2.2 | 6.5 | 29.9 | 57.7 | 3.7 | 64.5 歳 |
| 女 性 | 1,143 | 1.5 | 4.1 | 26.2 | 66.7 | 1.6 | 68.1 歳 |

暮らしている場所

現在、あなたはどこで暮らしていますか。(は 1 つ)

全体で見ると約 9 割 (88.5%) の対象者は、現在「自宅で暮らしている」が、65 歳以上では「福祉施設に入所している」割合が 8.0%とやや高い。

暮らしている場所

| | N | 自宅で暮らしている | 病院に入院している | 福祉施設に入所している | その他 | 無回答 |
|---------|-------|-----------|-----------|-------------|-----|-----|
| TOTAL | 2,434 | 88.5 | 3.3 | 5.6 | 1.2 | 1.5 |
| 0-17 歳 | 44 | 90.9 | 4.5 | 4.5 | - | - |
| 18-39 歳 | 125 | 94.4 | - | 1.6 | 2.4 | 1.6 |
| 40-64 歳 | 659 | 94.5 | 2.3 | 1.4 | 1.1 | 0.8 |
| 65 歳以上 | 1,471 | 86.2 | 4.1 | 8.0 | 1.2 | 0.5 |

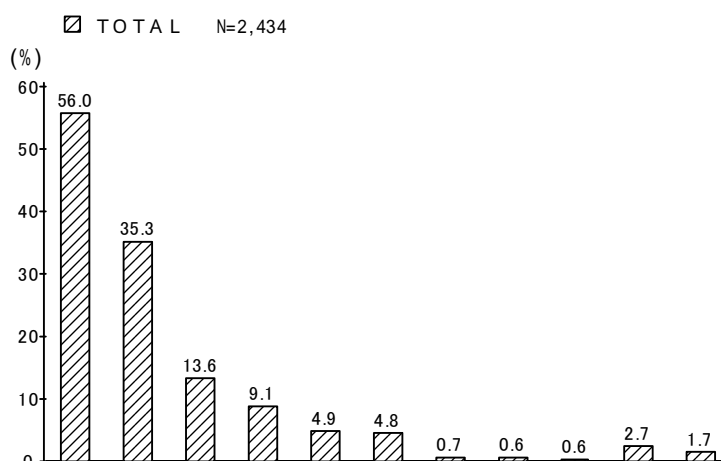
同居者

現在、あなたと暮らしている人はどなたですか。(はいいくつでも)

一緒に暮らしている人は、「配偶者」が56.0%と最も多く、次いで「息子、娘」が35.3%で続いている。なお、「自分一人だけで暮らしている」人は13.6%である。

年齢別にみると、18歳未満では「父、母」が90.9%、「兄弟、姉妹」が63.6%と特に多い。また、「18～39歳」の19.2%は一人暮らしである。

同居者

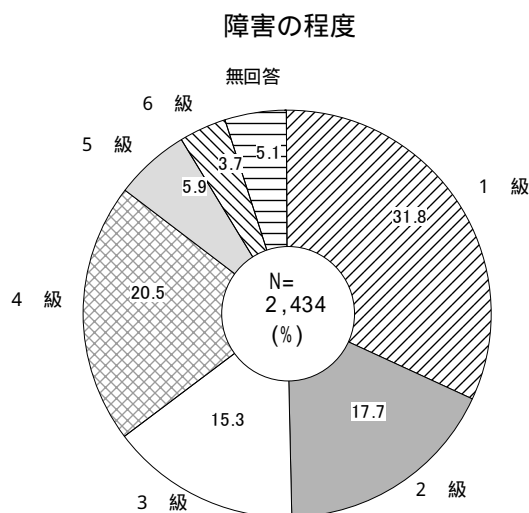


| | N | 同居者 | | | | | | | | | | | |
|---|--------|-------|------|------|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | |
| 0 | TOTAL | 2,434 | 56.0 | 35.3 | 13.6 | 9.1 | 4.9 | 4.8 | 0.7 | 0.6 | 0.6 | 2.7 | 1.7 |
| 1 | 0～17歳 | 44 | 2.3 | 2.3 | 0.0 | 90.9 | 2.3 | 63.6 | 0.0 | 0.0 | 13.6 | 4.5 | 0.0 |
| 2 | 18～39歳 | 125 | 20.0 | 9.6 | 19.2 | 54.4 | 1.6 | 24.0 | 1.6 | 0.8 | 4.8 | 5.6 | 0.0 |
| 3 | 40～64歳 | 659 | 65.6 | 41.7 | 12.4 | 14.0 | 1.1 | 3.9 | 0.3 | 1.1 | 0.2 | 1.8 | 0.3 |
| 4 | 65歳以上 | 1,471 | 56.4 | 36.5 | 14.2 | 1.0 | 7.1 | 1.8 | 0.9 | 0.4 | 0.1 | 2.8 | 1.1 |
| 5 | 無回答 | 135 | 54.8 | 25.9 | 11.1 | 5.2 | 3.0 | 4.4 | 0.0 | 0.7 | 0.0 | 2.2 | 17.0 |

身体障害者手帳に記載された障害の程度

「身体障害者手帳」に記載された障害の程度をお答えください。(は1つ)

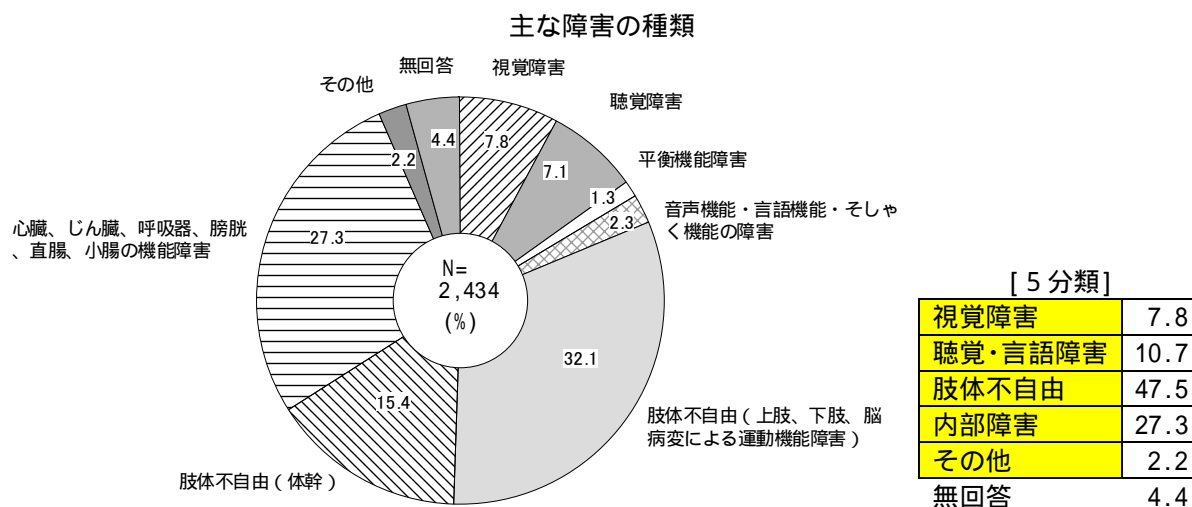
障害の程度は、1級(31.8%)、2級(17.7%)の重度障害が約半数を占めている。



障害の種類

身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記載してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

身体障害者手帳に1番目に記載されている障害の種類は、「肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)」が32.1%と最も多く、次いで「心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸の機能の障害」で27.3%と続いている。



5分類では「聴覚・言語障害」に「聴覚障害」「平衡機能障害」「音声・言語機能・そしゃく機能障害」を含めている。

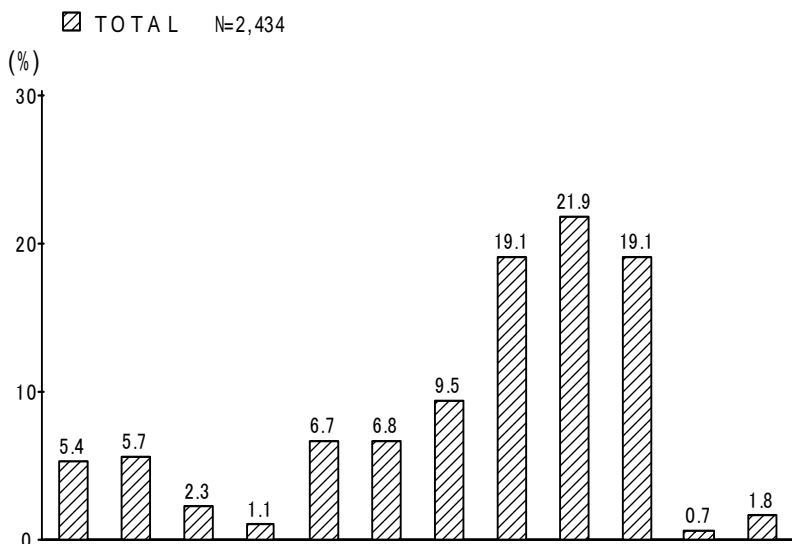
障害の状態になった時期

あなたが現在の障害の状態になったのはいつ頃ですか。(は1つ)

現在の障害の状態になった時期は、「60～69歳頃」が21.9%と最も多く、次いで「50～59歳頃」と「70歳以上」がそれぞれ19.1%で続いており、50歳以上で障害の状態になった人が約6割(60.1%)を占めている。

障害の種類別にみると、聴覚・言語障害、肢体不自由、内部障害では「60～69歳頃」に障害の状態になった人が最も多く、視覚障害では「70歳以上」が最も多くなっている。また、視覚障害では「出生時(出生前を含む)」(11.0%)、聴覚・言語障害では「乳幼児期(0～5歳)」(13.4%)がそれぞれ1割以上と、他の障害に比べて高い割合を示している。

障害の状態になった時期



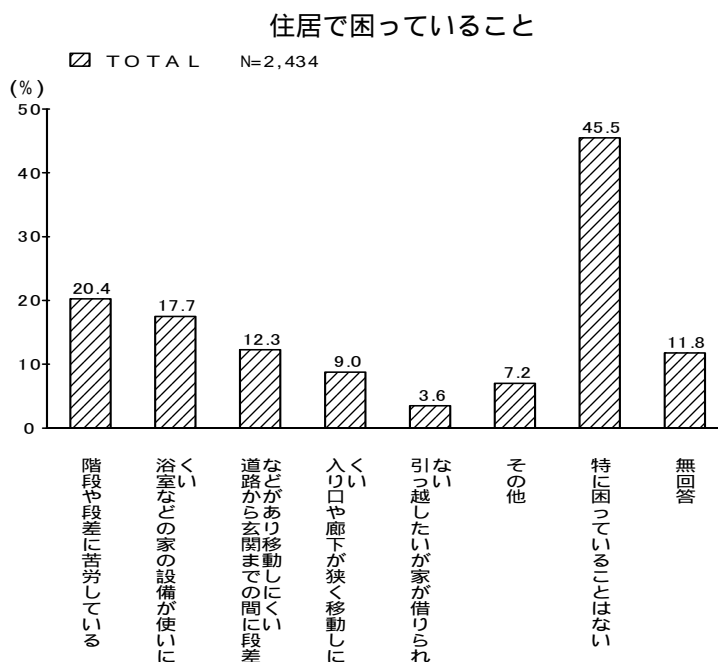
| | N | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|-----------|-------|---------------|--------------|--------------------------------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|------|
| | | 出生時 出生前を含む | 乳幼児期 0～5歳 | 学校卒業 年齢まで 小学校入学時～ 中学校 | 中学校卒業 ～17歳頃 | 18～29歳頃 | 30～39歳頃 | 40～49歳頃 | 50～59歳頃 | 60～69歳頃 | 70歳以上 | わからない | 無回答 |
| 0 TOTAL | 2,434 | 5.4 | 5.7 | 2.3 | 1.1 | 6.7 | 6.8 | 9.5 | 19.1 | 21.9 | 19.1 | 0.7 | 1.8 |
| 1 視覚障害 | 191 | 11.0 | 5.8 | 2.6 | 1.6 | 8.9 | 5.8 | 9.9 | 16.2 | 17.3 | 18.8 | 1.0 | 1.0 |
| 2 聴覚・言語障害 | 261 | 8.0 | 13.4 | 4.2 | 0.4 | 5.7 | 6.1 | 8.0 | 16.1 | 19.5 | 14.9 | 1.9 | 1.5 |
| 3 肢体不自由 | 1,156 | 6.0 | 7.5 | 3.2 | 1.5 | 7.7 | 7.4 | 10.4 | 19.0 | 19.3 | 17.4 | 0.3 | 0.3 |
| 4 内部障害 | 664 | 2.9 | 0.8 | 0.3 | 0.6 | 5.0 | 5.7 | 9.5 | 22.9 | 28.2 | 22.9 | 0.5 | 0.9 |
| 5 その他 | 54 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 1.9 | 11.1 | 16.7 | 3.7 | 24.1 | 22.2 | 16.7 | 1.9 | 0.0 |
| 6 無回答 | 108 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | 3.7 | 5.6 | 6.5 | 6.5 | 24.1 | 25.9 | 0.9 | 25.9 |

(2) 住居について

住居で困っていること

今のお住まいについて何か困っていることがありますか。(はいいくつでも)

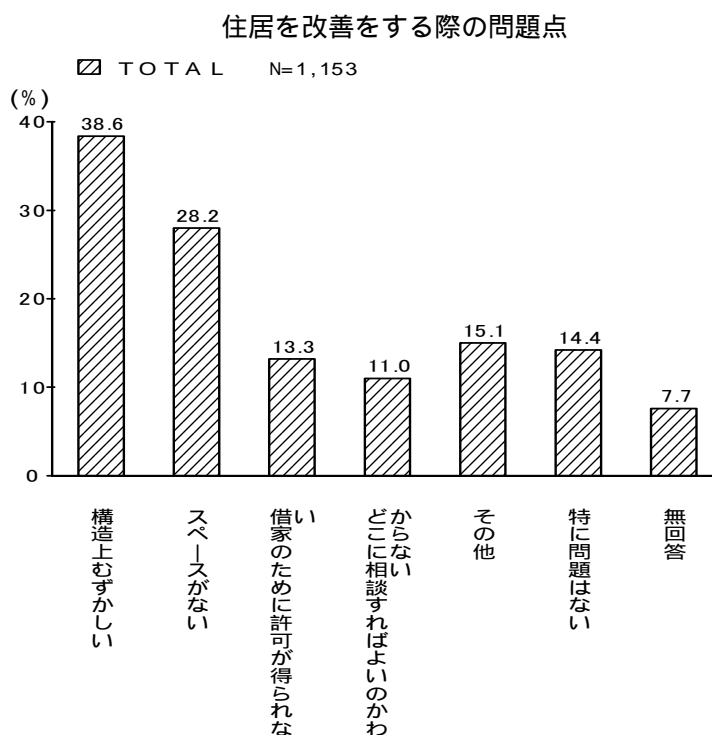
現在の住居については、45.5%が「特に困っていることはない」と回答しているが、困っていることとしては「階段や段差に苦労している」が約2割(20.4%)の人にあげられている。



住居を改善する際の問題点

改善をする際の問題点としては、どのようなことがありますか。(はいいくつでも)

現在の住居を改善する際の問題点については、「構造上むずかしい」(38.6%)や「スペースがない」(28.2%)といったハード面での制約のほかに、「どこに相談すればよいかわからない」という回答も約1割(11.0%)みられる。(ここでは、現在の住居で今後改善を必要とするところがある人のみを母数としている。)



(3) 日常生活について

日常生活動作における介助・援助の必要性

日常生活状況についておたずねします。次の(1)～(7)のそれぞれの状況について、1～4のいずれか1つにをつけてください。(自宅で障害を補うための装具や機器を使用している方は、これらを使用した状態を想定してお答えください。)

食事

食事の際に「全部介助・援助が必要」な人は4.4%、「一部介助・援助が必要」な人は8.4%である。ただし、「重度(1級・2級)」では「全部介助・援助が必要」が7.5%、「一部介助・援助が必要」が12.9%で、あわせて20.4%は食事に際して何らかの介助・援助を必要としている。

トイレ

トイレの際に「全部介助・援助が必要」な人は9.9%、「一部介助・援助が必要」な人は5.2%である。ただし、「重度(1級・2級)」では「全部介助・援助が必要」が15.6%、「一部介助・援助が必要」が7.6%で、あわせて23.2%はトイレに際して何らかの介助・援助を必要としている。

入浴

入浴の際に「全部介助・援助が必要」な人は15.0%、「一部介助・援助が必要」な人は10.7%である。ただし、「重度(1級・2級)」では「全部介助・援助が必要」が23.5%、「一部介助・援助が必要」が14.8%で、あわせて38.3%は入浴に際して何らかの介助・援助を必要としている。

衣服の着脱

衣服の着脱の際に「全部介助・援助が必要」な人は9.9%、「一部介助・援助が必要」な人は10.1%である。ただし、「重度(1級・2級)」では「全部介助・援助が必要」が15.8%、「一部介助・援助が必要」が14.4%で、あわせて30.2%は衣服の着脱に際して何らかの介助・援助を必要としている。

家の中の移動

家の中の移動の際に「全部介助・援助が必要」な人は8.9%、「一部介助・援助が必要」な人は6.8%である。ただし、「重度(1級・2級)」では「全部介助・援助が必要」が13.6%、「一部介助・援助が必要」が10.5%で、あわせて24.1%は家の中の移動に際して何らかの介助・援助を必要としている。

家事(調理、掃除、洗濯)

家事の際に「全部介助・援助が必要」な人は24.1%、「一部介助・援助が必要」な人は13.6%である。

外出

外出の際に「全部介助・援助が必要」な人は23.4%、「一部介助・援助が必要」な人は15.2%である。ただし、「重度(1級・2級)」では「全部介助・援助が必要」が34.1%、「一部介助・援助が必要」が18.5%で、あわせて52.6%は外出に際して何らかの介助・援助を必要としている。

日常生活動作における介助・援助の必要性 (全体 N=2,434)

| | 一人で行える | 時間をかければ一人で行える | 一部介助・援助が必要 | 全部介助・援助が必要 | 無回答 |
|--------|--------|---------------|------------|------------|------|
| 食事 | 71.5 | 9.6 | 8.4 | 4.4 | 6.0 |
| トイレ | 69.9 | 8.5 | 5.2 | 9.9 | 6.5 |
| 入浴 | 59.0 | 8.5 | 10.7 | 15.0 | 6.8 |
| 衣服の着脱 | 61.1 | 12.0 | 10.1 | 9.9 | 6.9 |
| 家の中の移動 | 64.1 | 12.3 | 6.8 | 8.9 | 7.9 |
| 家事 | 37.6 | 13.5 | 13.6 | 24.1 | 11.2 |
| 外出 | 42.6 | 12.0 | 15.2 | 23.4 | 6.7 |

日常生活動作における介助・援助の必要性 (重度(1級・2級) N=1,205)

| | 一人で行える | 時間をかければ一人で行える | 一部介助・援助が必要 | 全部介助・援助が必要 | 無回答 |
|--------|--------|---------------|------------|------------|------|
| 食事 | 64.4 | 11.1 | 12.9 | 7.5 | 4.1 |
| トイレ | 62.2 | 10.2 | 7.6 | 15.6 | 4.4 |
| 入浴 | 48.3 | 8.5 | 14.8 | 23.5 | 4.9 |
| 衣服の着脱 | 51.2 | 13.9 | 14.4 | 15.8 | 4.7 |
| 家の中の移動 | 56.0 | 14.2 | 10.5 | 13.6 | 5.6 |
| 家事 | 27.8 | 11.7 | 15.3 | 35.0 | 10.2 |
| 外出 | 32.4 | 9.8 | 18.5 | 34.1 | 5.1 |

食事、トイレ、入浴、衣服の着脱、家の中の移動の5項目について、介助・援助の必要性から、「重介助」、「中介助」、「軽介助」、「介助なし」の4類型に分類を試みた。

重介助：5項目の中に1つでも「全部介助・援助が必要」がある。

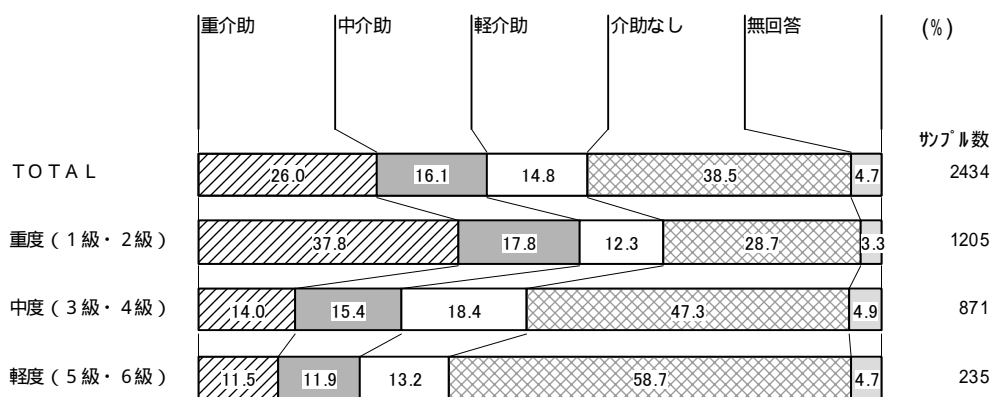
中介助：5項目の中に1つでも「一部介助・援助が必要」がある。(重介助を除く)

軽介助：5項目の中に1つでも「時間をかければ一人で行える」がある。(重介助、中介助を除く)

介助なし：5項目すべてが「一人で行える」と「無回答」のみ。

身体障害者手帳に記載されている障害の程度が1級・2級の重度障害者では、日常生活動作において介助・援助を必要としない人は約3割(28.7%)で、約7割(68.0%)は何らかのサポートを必要としている状況がうかがえる。

介助・援助の必要性



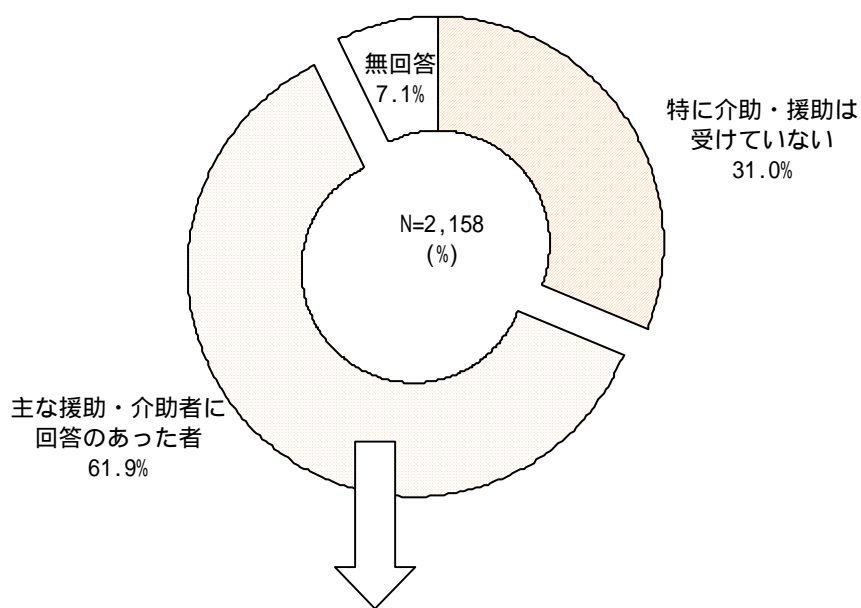
主な介助・援助者

ふだん、あなたを主に援助・介助しているのはどなたですか。(は1つ)

主な援助・介助者に回答のあった人は 61.9%であり、約3割(31.0%)は「特に介助・援助は受けていない」と回答している。

主な援助・介助者のうち、最も回答が多かったのは「夫、妻」の47.5%、次いで「息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)」が19.9%となっている。ただし、対象者が40歳未満の場合は、「父、母」の占める割合が最も高い。

介助・援助の状況



主な介助・援助者

N=1,334

| 夫、妻 | 父、母 | 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む) | 兄弟、姉妹 | その他の親せき | 近所の人 | 病院の職員(看護婦等) | 施設の職員 | 市社会福祉協議会職員 | 民生委員・児童委員 | ボランティア | ホームヘルパー | その他 |
|------|-----|-------------------|-------|---------|------|-------------|-------|------------|-----------|--------|---------|-----|
| 47.5 | 7.4 | 19.9 | 3.0 | 0.2 | 0.8 | 3.0 | 5.8 | 0.7 | 0.1 | 0.1 | 9.3 | 2.2 |

主な介助・援助者(対象者の年齢別順位)

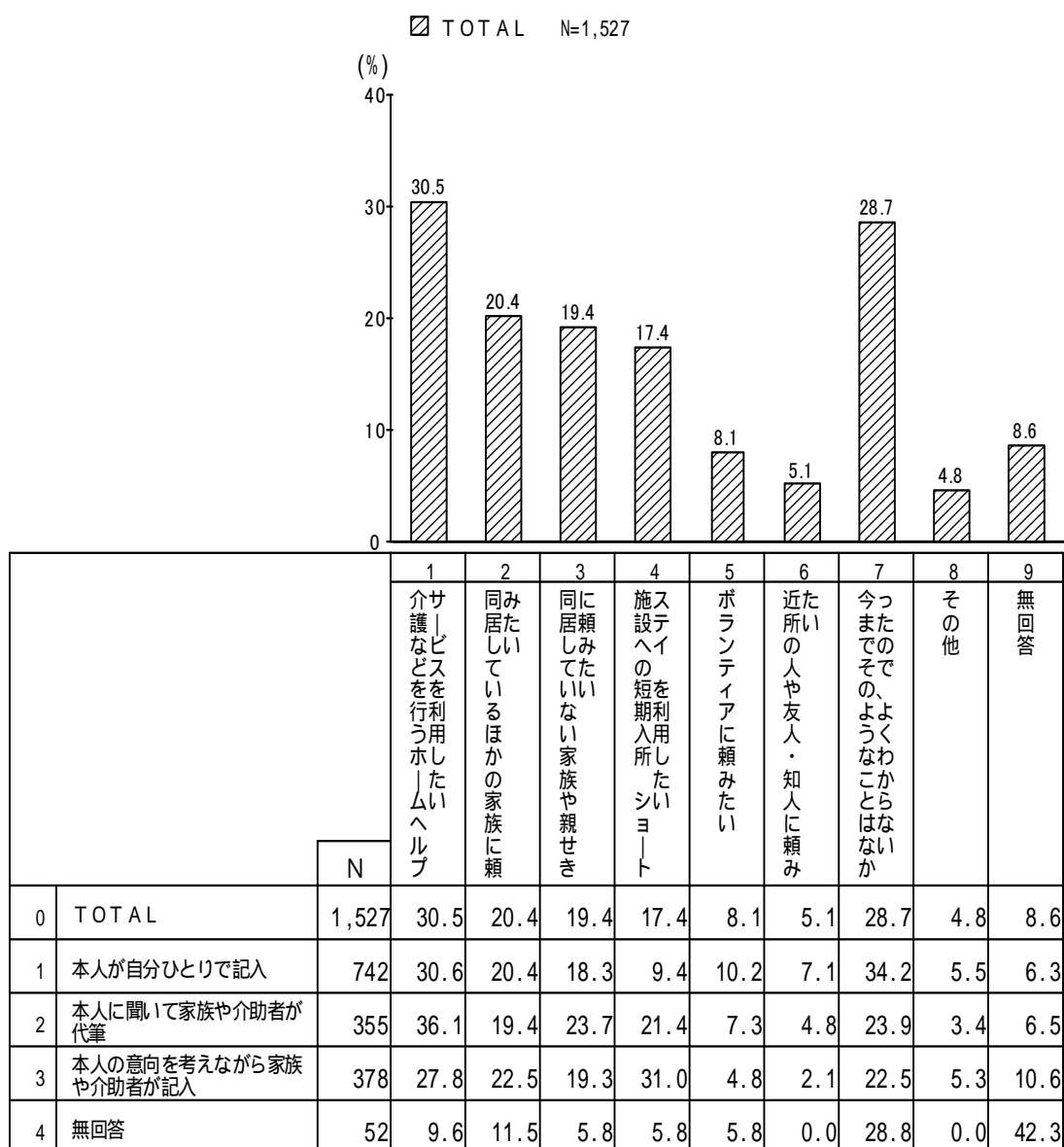
| | N | 主な介助・援助者(対象者の年齢別順位) | | |
|--------|------|---------------------|---------------------------|-----------------|
| | | 1位 | 2位 | 3位 |
| 0-17歳 | 37 | 父、母 97.3 | 病院の職員(看護婦等) 2.7 | - |
| 18-39歳 | 63 | 父、母 57.1 | 夫、妻 17.5 | その他 11.1 |
| 40-64歳 | 328 | 夫、妻 57.0 | 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む) 11.9 | 父、母 9.5 |
| 65歳以上 | 1018 | 夫、妻 45.8 | 息子、娘(息子、娘の配偶者も含む) 24.3 | ホームヘルパー 10.7 |

介助・援助者が不在のときに希望する対応

あなたを主に介助・援助している方が、病気の時や、外出しなくてはならないときなどは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。(はいくつでも)

主な介助・援助者が病気などで一時的に介護ができなくなった場合に望む対応としては、「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」と考えている人が30.5%と最も多い。ただし、「今までそのようなことがなかったので、よくわからない」(28.7%)という回答も同程度みられることから、現段階では介助・援助者が不在であることを想定(想像)しにくい状況もうかがえる。ちなみに、この調査票を「本人が自分一人で記入した」場合には、「今までそのようなことはなかったので、よくわからない」が34.2%と最も多くなっている。

介助・援助者不在のときに希望する対応

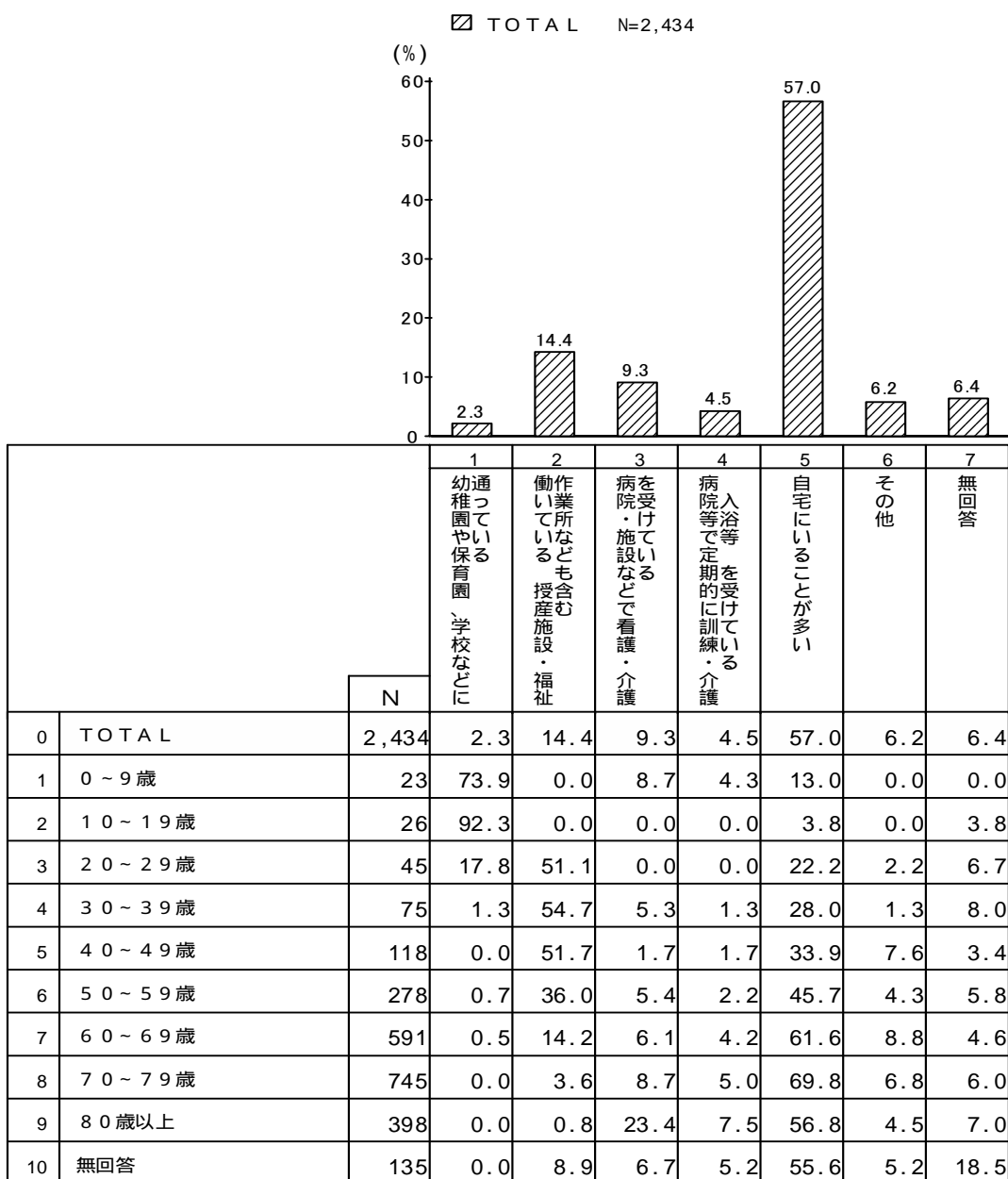


日中の過ごし方（現状と希望）

あなたは、平日の昼間、主にどこで（何をして）過ごしていますか。（は1つ）

日中の過ごし方をみると、20代から40代では「働いている（授産施設・福祉作業所なども含む）」人が約半数を占め最も多くなっている。一方、「自宅にすることが多い」と回答した人の割合は、概ね年齢があがるにしたがって高くなり、70代では約7割（69.8%）と特に高くなっているが、80歳以上では「自宅にすることが多い」の占める割合が減り、その分「病院・施設などで看護・介護を受けている」割合が23.4%と高くなっている。

現在の日中の過ごし方



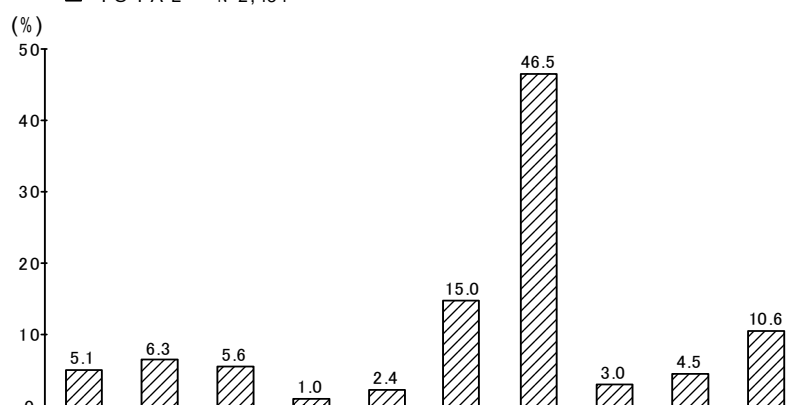
あなたは、今後、日中をどのように過ごしたいですか。(は1つ)

今後、希望する日中の過ごし方としては、「今までのままの過ごし方を続けたい」と考えている人が46.5%と最も多い。

障害の程度別にみると、「自宅で過ごしたい」と考える人の割合は、障害の程度が重くなるほど高く、「常勤で一般の仕事につきたい」と「パートなど短時間の仕事をしたい」は障害の程度が軽くなるほど高くなる。

今後、希望する日中の過ごし方

☒ TOTAL N=2,434



| 項目 | TOTAL | N | 希望する日中の過ごし方 | | | | | | | | | |
|----|-----------|-------|-----------------|-------------------|---------------------|-----------|-----------------|------------|-------------------|-------|---------|--------|
| | | | 1 常勤で一般の仕事につきたい | 2 パートなど短時間の仕事をしたい | 3 訓練、福祉施設や介護などを受けたい | 4 学校に通いたい | 5 仕事や学校以外で外出したい | 6 自宅で過ごしたい | 7 今までのままの過ごし方を続けた | 8 その他 | 9 わからない | 10 無回答 |
| 0 | TOTAL | 2,434 | 5.1 | 6.3 | 5.6 | 1.0 | 2.4 | 15.0 | 46.5 | 3.0 | 4.5 | 10.6 |
| 1 | 重度(1級・2級) | 1,205 | 4.8 | 4.7 | 7.6 | 1.2 | 2.7 | 16.4 | 45.0 | 2.7 | 5.1 | 9.8 |
| 2 | 中度(3級・4級) | 871 | 5.1 | 7.3 | 3.8 | 0.9 | 2.2 | 13.8 | 50.3 | 3.0 | 4.0 | 9.6 |
| 3 | 軽度(5級・6級) | 235 | 7.2 | 10.2 | 4.3 | 0.9 | 2.1 | 9.8 | 45.5 | 5.5 | 3.8 | 10.6 |
| 4 | 無回答 | 123 | 3.3 | 6.5 | 0.8 | 0.0 | 2.4 | 18.7 | 36.6 | 2.4 | 4.1 | 25.2 |

「今までの過ごし方を続けたい」と回答した人が、現在、主にどこで平日の昼間を過ごしているかをみると、約6割(58.8%)が「自宅にすることが多い」となっているほか、「働いている(授産施設・福祉作業所なども含む)」が16.4%、「病院・施設で看護・介護を受けている」が8.8%などとなっている。

「今までの過ごし方を続けたい」と回答した人の現在の日中の過ごし方

| 項目 | N | 現在の日中の過ごし方 | | | | |
|---------------|-------|------------|------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------|
| | | 自宅にすることが多い | 働いている(授産施設・福祉作業所なども含む) | 病院・施設などで看護・介護を受けている | 病院等で定期的に訓練・介護(入浴等)を受けている | 幼稚園や保育園、学校などに通っている |
| 今までの過ごし方を続けたい | 1,132 | 58.8 | 16.4 | 8.8 | 3.5 | 1.3 |

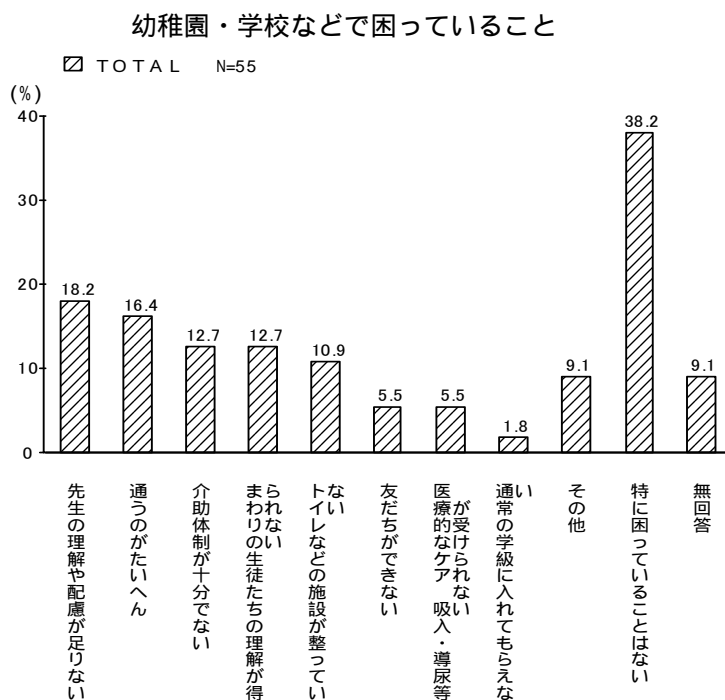
その他、無回答は省略

(4) 教育について

幼稚園・学校等に通っていて困っていること

幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(はいいくつでも)

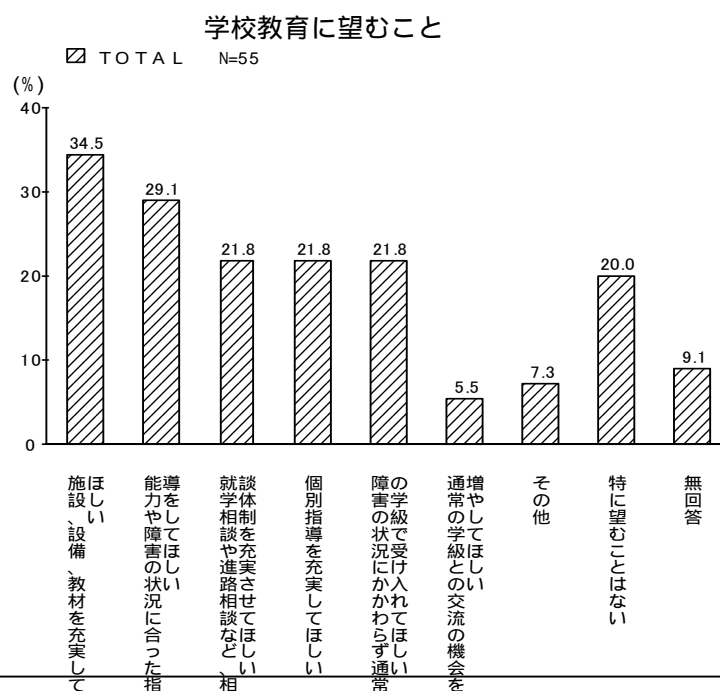
幼稚園や学校などに通っていて困っていることは、約4割(38.2%)の人が「特にない」と回答しているが、困っていることとしてあげられた項目としては「先生の理解や配慮が足りない」が18.2%と最も多く、次いで「通うのがたいへん」(16.4%)、「介助体制が十分でない」(12.7%)、「まわりの生徒たちの理解が得られない」(12.7%)と続いている。



学校教育に望むこと

学校教育に望むことはどのようなことですか。(はいいくつでも)

学校教育に望むこととしては、「施設、設備、教材を充実してほしい」をあげる人が34.5%と最も多く、次いで「能力や障害の状況に合った指導をしてほしい」が29.1%で続いている。

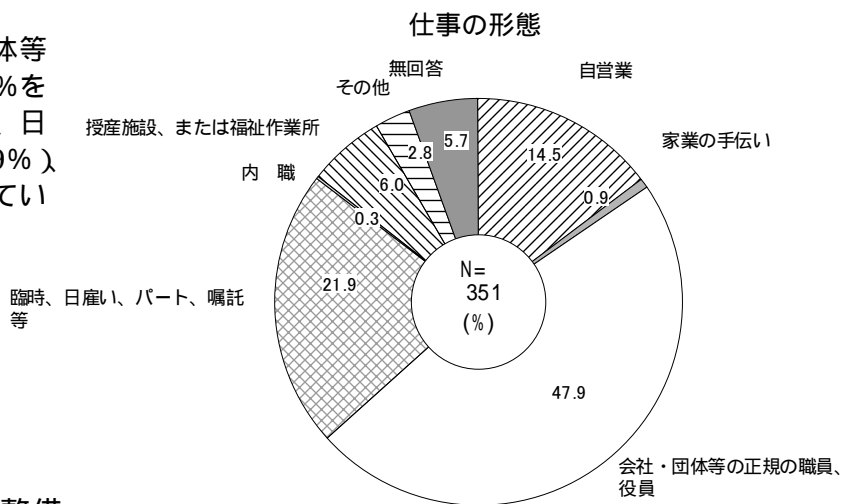


(5) 就労について

仕事の形態

仕事の形態は次のうちどれですか。(は1つ)

仕事の形態は、「会社・団体等の正規の職員、役員」が47.9%を占め最も多く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託等」(21.9%)、「自営業」(14.5%)と続いている。

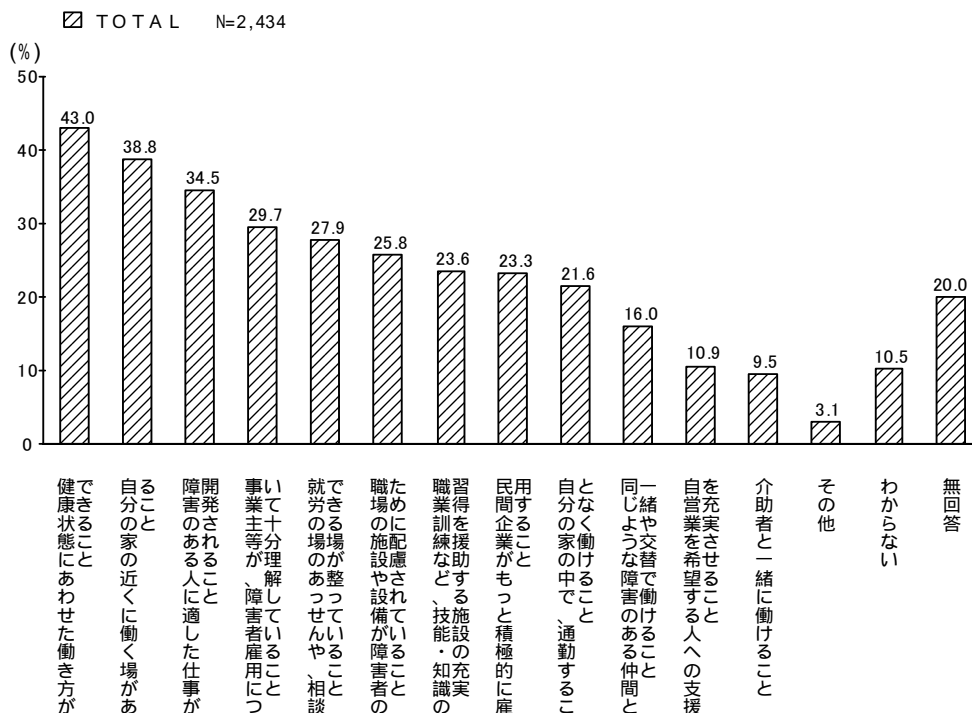


働くために大切な環境整備

あなたは、障害のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はいくつでも)

障害者が働くために大切な環境整備としては、「健康状態にあわせた働き方ができること」をあげる人が43.0%と最も多く、次いで「自分の家の近くに働く場があること」(38.8%)、「障害のある人に適した仕事が開発されること」(34.5%)と続いている。

働くために大切な環境整備



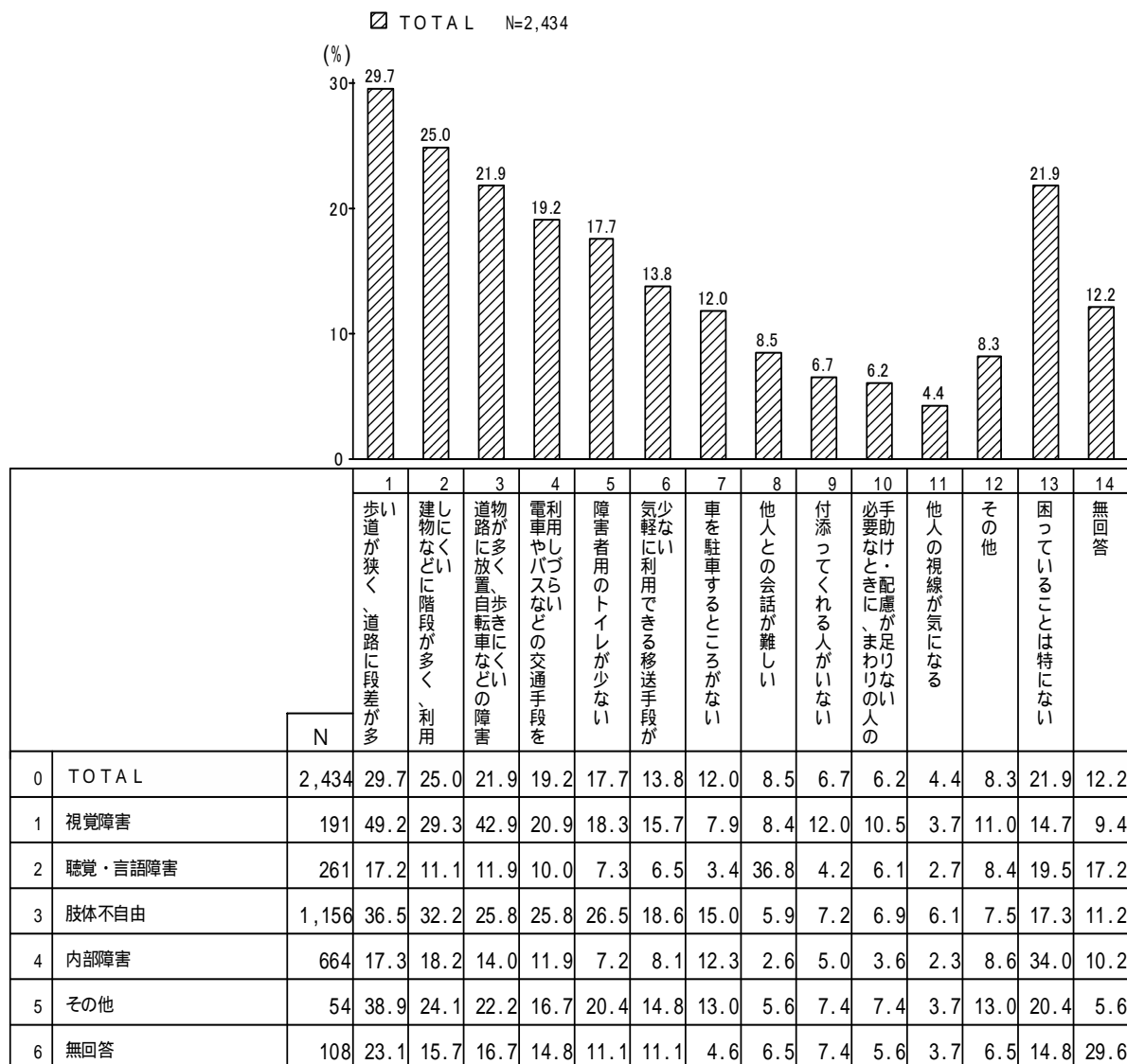
(6) 外出や余暇活動について

外出の際に困っていること

外出の際に困っていることがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。(はいいくつでも)

外出の際に困っていることを障害の種類別にみると、それぞれの障害で3割以上の方があげている項目は、視覚障害では「歩道が狭く、道路に段差が多い」(49.2%)と「道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きにくい」(42.9%)、聴覚・言語障害では「他人との会話が難しい」(36.8%)、肢体不自由では「歩道が狭く、道路に段差が多い」(36.5%)と「建物などに階段が多く、利用しにくい」(32.2%)となっている。また、内部障害では、「困っていることが特にない」と回答した人の割合が34.0%と、他の障害に比べて高くなっている。

外出の際に困っていること



外出の際に困っている場所

外出の際に、特に困っている場所があれば具体的にお書きください。(自由記入)

外出の際、特に困っている場所としては、「ひばりヶ丘駅」、「西武柳沢駅」、「保谷駅」、「東伏見駅」の鉄道駅をあげる人が多く、困っている内容としてはエレベーターやエスカレーターが整備されていないことを理由とする回答が大半を占める。

困っている場所

| 場 所 | 件 数 |
|----------------|-----|
| ひばりヶ丘駅 | 80 |
| ひばりヶ丘駅周辺 | 6 |
| 西武柳沢駅 | 33 |
| 西武柳沢駅周辺 | 4 |
| 保谷駅 | 25 |
| 保谷駅周辺・保谷駅前通り | 15 |
| 東伏見駅 | 27 |
| 田無駅周辺・田無アスタ周辺 | 17 |
| 市役所(田無庁舎・保谷庁舎) | 16 |
| 青梅街道の歩道 | 11 |
| 保谷新道の歩道 | 5 |
| 旧青梅街道の歩道 | 2 |
| こもれびホール | 2 |
| その他 | 72 |

[具体的な記入内容]

- ・ひばりヶ丘駅は階段が急で怖い。もう何年も利用できないでいる。(75歳、内部障害)
- ・ひばりヶ丘駅北口から団地まで道が狭いうえに交通量が多く怖い。(77歳、内部障害)
- ・ひばりヶ丘駅西側の踏み切り及び周辺道路は歩行者が歩きづらい。(87歳、内部障害)
- ・保谷駅前通りが狭くて怖い。(69歳、肢体不自由)
- ・西武柳沢駅北口の放置自転車。(49歳、視覚障害)
- ・田無駅前のように変化の大きな所は方向がわからなくなる。(93歳、視覚障害)
- ・東伏見駅の階段は急なうえ44段もあるので低肺機能者にはたいへん。(71歳、音声・言語・そしゃく機能障害)
- ・田無庁舎入口前のスロープが急すぎる。(42歳、肢体不自由)
- ・保谷庁舎の東側売店のところは階段に手すりがなく、坂は急。(48歳、肢体不自由)
- ・市役所通りに駐車している車が多く、見通しが悪い。(68歳、肢体不自由)
- ・谷戸図書館前の道の歩道が狭く、車いすが通れない。(39歳、その他)
- ・途中休憩する場所が北町周辺にはない。(68歳、内部障害)
- ・田無警察署には車いす用の駐車場がない。(60歳、肢体不自由)
- ・北原交差点の歩行者信号が短く渡れない。(58歳、内部障害)
- ・新青梅街道西原の交差点の信号が見にくい。(53歳、視覚障害)
- ・こもれびホールには車いすでは行けない。(56歳、肢体不自由)
- ・青梅街道の歩道が狭く歩きにくい。(64歳、視覚障害)

余暇活動の状況（現状と希望）

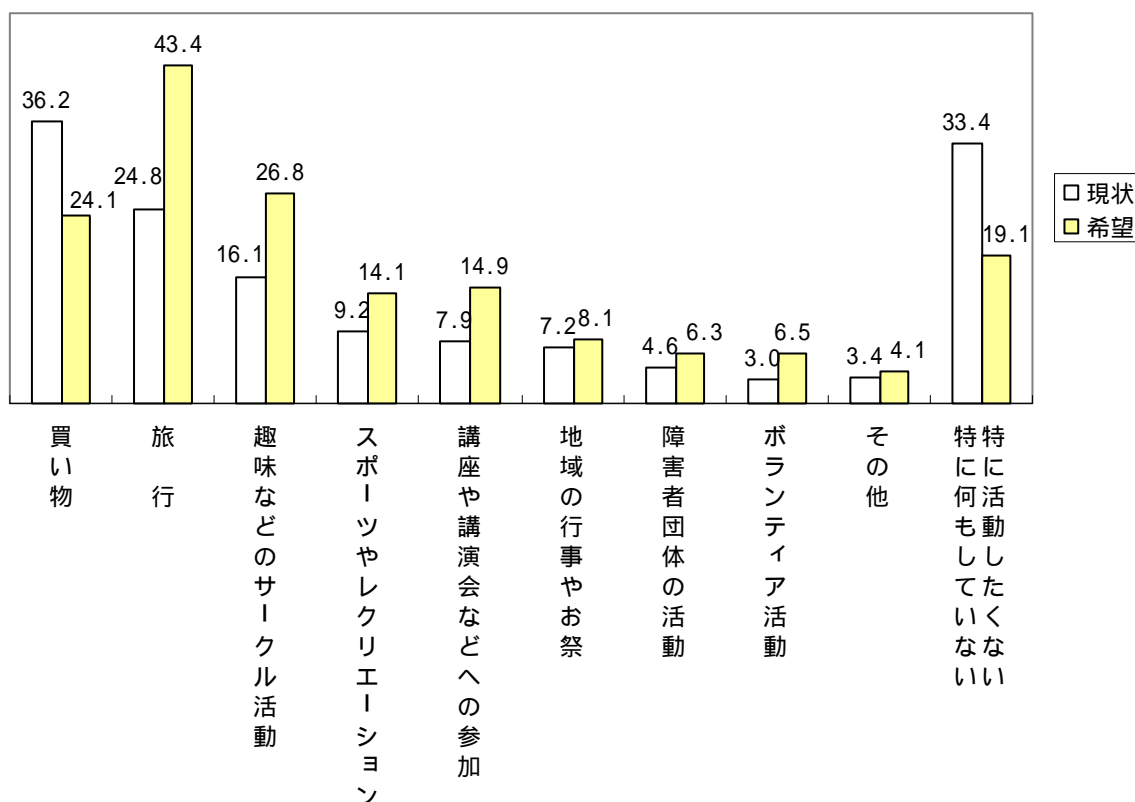
あなたは、最近、次のような活動をしましたか。（はいいくつでも）
 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。（はいいくつでも）

最近、最もよくした活動は「買い物」で、36.2%の人があげている。次いで「旅行」(24.8%)、「趣味などのサークル活動」(16.1%)と続いているが、3人に1人は「特に何もしていない」(33.4%)状況である。

今後、したいと思う活動については、「旅行」をあげる人が43.4%と最も多く、次いで「趣味などのサークル活動」(26.8%)、「買い物」(24.1%)と続いている。「買い物」以外は、いずれの活動も、最近活動した人よりも、今後したいと思っている人のほうが多くなっている。

最近した活動と今後したい活動

N=2,434



最近「特に何もしていない」人の状況を見ると、46.8%の人は今後も「特に活動したくない」と回答しているものの、22.7%の人は今後は「旅行」をしたい、また、12.6%は「趣味などのサークル活動」をしたいと思っていることがうかがえる。

今後したい活動（最近、特に何も活動していない人のみ）

| | N | 特に活動したくない | 旅行 | 趣味などのサークル活動 | 買い物 | 講座や講演会などへの参加 |
|---------|-----|-----------|------|-------------|-----|--------------|
| 何もしていない | 812 | 46.8 | 22.7 | 12.6 | 9.4 | 6.0 |

上位5項目以外は省略

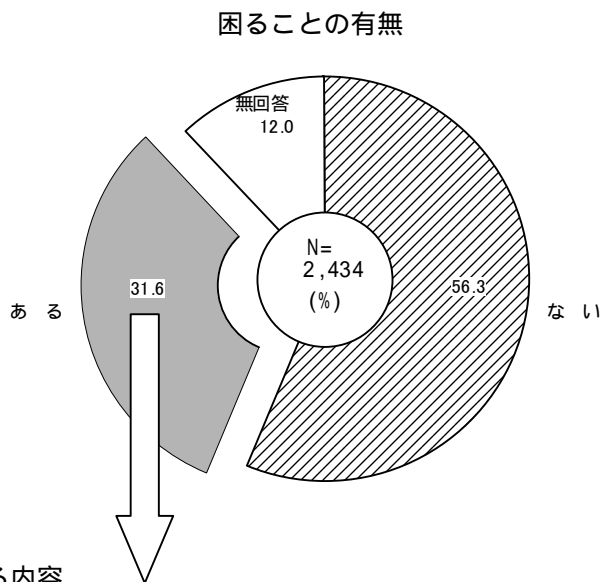
(7) 医療や健康について

医療を受けるにあたって困ること

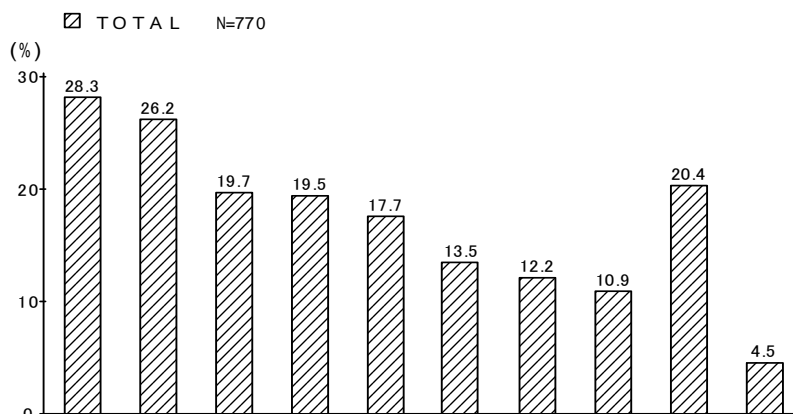
困ることはどんなことですか。(はいいくつでも)

医療を受けるにあたって困ることが「ある」人は31.6%で、内容としては「医療機関(主治医)までの通院手段が確保しにくい」(28.3%)、「障害が理由で、主疾患以外の病気の診療を受けにくい」(26.2%)が比較的多くあげられている。

障害の種類別にみると、聴覚・言語障害では「自分のもつ障害のために自覚症状がうまく伝わらない」の割合が37.8%と特に高く、「医療機関のスタッフが障害に対する理解が認識が薄い」も25.2%と他の障害に比べて高くなっている。また、肢体不自由では「医療機関(主治医)までの通院手段が確保しにくい」(33.3%)と「医療機関の建物が障害に配慮した構造になっていない」(30.3%)の2項目が他の障害に比べて高い。



困っている内容



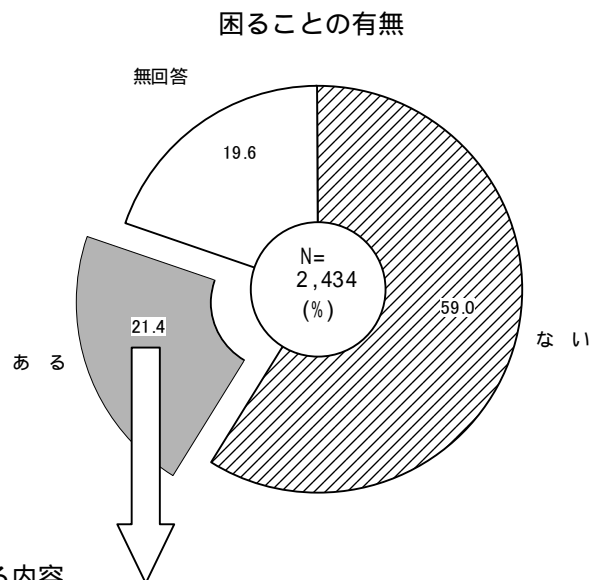
| | N | 困っている内容 (%) | | | | | | | | | | |
|---|---------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 0 | TOTAL | 770 | 28.3 | 26.2 | 19.7 | 19.5 | 17.7 | 13.5 | 12.2 | 10.9 | 20.4 | 4.5 |
| 1 | 視覚障害 | 70 | 28.6 | 11.4 | 21.4 | 24.3 | 22.9 | 7.1 | 8.6 | 15.7 | 24.3 | 4.3 |
| 2 | 聴覚・言語障害 | 111 | 17.1 | 18.9 | 9.0 | 37.8 | 25.2 | 15.3 | 8.1 | 10.8 | 18.0 | 5.4 |
| 3 | 肢体不自由 | 360 | 33.3 | 29.2 | 30.3 | 14.7 | 16.1 | 15.8 | 13.9 | 11.7 | 17.5 | 3.6 |
| 4 | 内部障害 | 178 | 20.8 | 31.5 | 6.7 | 15.2 | 14.0 | 9.6 | 10.1 | 7.9 | 29.2 | 4.5 |
| 5 | その他 | 25 | 32.0 | 24.0 | 12.0 | 28.0 | 12.0 | 20.0 | 24.0 | 8.0 | 12.0 | 12.0 |
| 6 | 無回答 | 26 | 53.8 | 23.1 | 11.5 | 15.4 | 23.1 | 11.5 | 19.2 | 11.5 | 7.7 | 7.7 |

健康管理について困ること

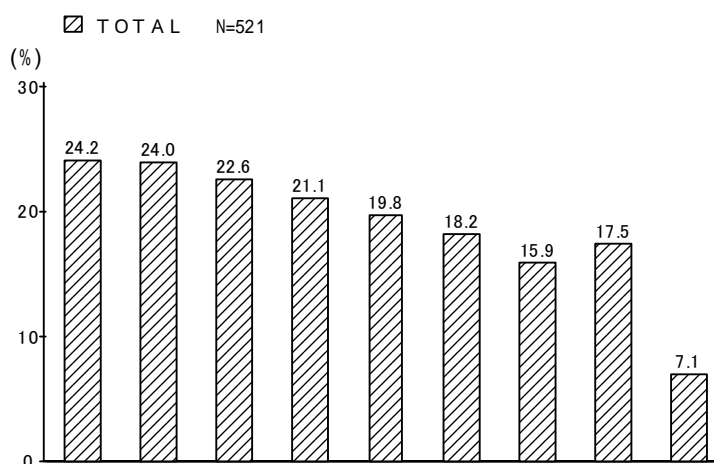
困ることはどんなことですか。(はいいくつでも)

健康管理について困ることが「ある」人は21.4%で、内容としては「近隣に、健康管理のため受診できる医療機関が少ない」(24.2%)、「医療機関からの、健康に関する情報が得られにくい」(24.0%)などが比較的多くあげられている。

障害の種類別にみると、聴覚・言語障害では、「医療機関からの、健康に関する情報が得られにくい」(34.5%)と「近隣に、健康管理のため受診できる医療機関が少ない」(32.7%)をあげる人の割合が3割以上と高いほか、「健康管理のための住民健診や保健指導が受けにくい」(27.3%)や「障害以外の病気について、受診するところが見つからない」(25.5%)なども、他の障害に比べて比較的高い割合であげられている。



困っている内容



| | N | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|-----------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 0 TOTAL | 521 | 24.2 | 24.0 | 22.6 | 21.1 | 19.8 | 18.2 | 15.9 | 17.5 | 7.1 |
| 1 視覚障害 | 41 | 24.4 | 9.8 | 19.5 | 22.0 | 14.6 | 17.1 | 17.1 | 19.5 | 4.9 |
| 2 聴覚・言語障害 | 55 | 32.7 | 34.5 | 16.4 | 23.6 | 27.3 | 25.5 | 20.0 | 10.9 | 14.5 |
| 3 肢体不自由 | 252 | 23.8 | 25.4 | 23.4 | 17.5 | 23.4 | 18.3 | 12.7 | 15.1 | 6.3 |
| 4 内部障害 | 139 | 21.6 | 20.1 | 24.5 | 25.9 | 11.5 | 16.5 | 18.0 | 25.9 | 6.5 |
| 5 その他 | 14 | 42.9 | 35.7 | 21.4 | 14.3 | 35.7 | 21.4 | 21.4 | 14.3 | 0.0 |
| 6 無回答 | 20 | 10.0 | 25.0 | 25.0 | 30.0 | 10.0 | 10.0 | 25.0 | 5.0 | 10.0 |

(8) 情報の取得や相談について

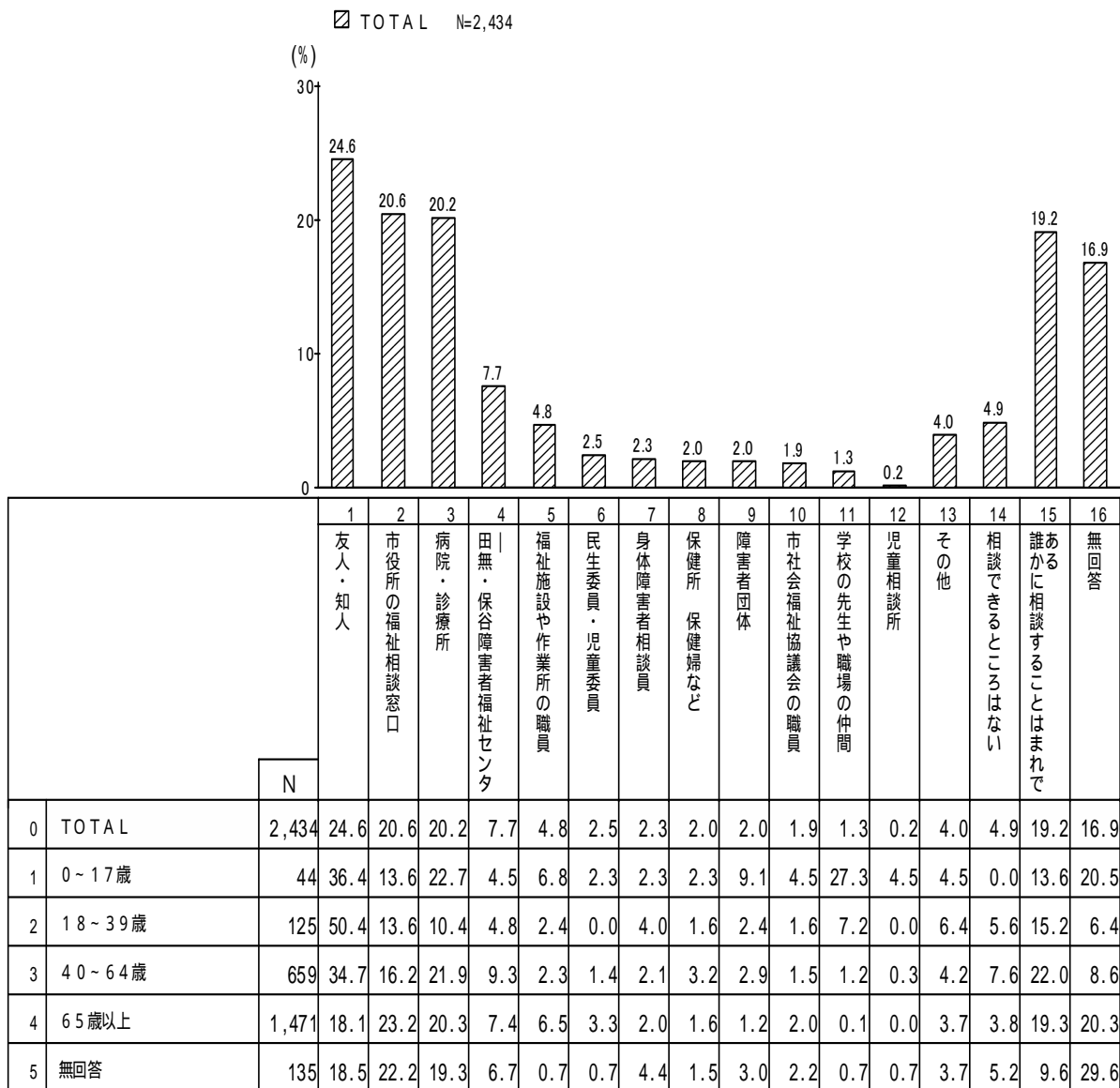
悩み事や心配事の相談先

あなたは、悩み事や心配事があるとき、家族や親せき以外に、どのようなところに相談していますか。(はいくつでも)

悩み事や心配事の相談先(家族や親せき以外)は、「友人・知人」が24.6%と最も多く、次いで「市役所の福祉相談窓口」(20.6%)、「病院・診療所」(20.2%)と続いている。

年代別にみると、「18～39歳」では「友人・知人」をあげる人の割合が50.4%と特に高く、「病院・診療所」が10.4%と他の年代に比べて低くなっている。また、「市役所の福祉相談窓口」をあげる人の割合は年代があがるほど高くなり、「65歳以上」では23.2%と相談先の1番目にあげられている。

悩み事や心配事の相談先(家族・親せき以外)



福祉サービスに関する情報の入手先

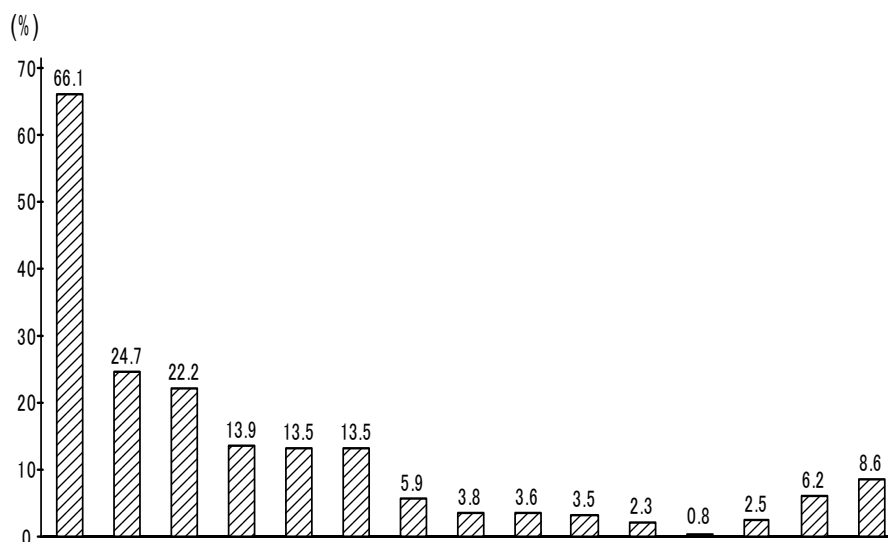
あなたは、福祉サービスなどの情報を主にどこから得ていますか。(はいいくつでも)

福祉サービスなどの情報は「市の広報紙(広報テープを含む)」から得ている人が66.1%と特に多い。

障害の種類別にみると、視覚障害では市や都の広報紙から情報を得ている割合が他の障害に比べて低く、「家族、親せき」から情報を得ている人の割合が21.5%と高くなっている。また、内部障害では「病院、診療所」が21.7%と他の障害に比べて高い。

福祉サービスに関する情報の入手先

☐ TOTAL N=2,434



| | N | 入手先 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 0 TOTAL | 2,434 | 66.1 | 24.7 | 22.2 | 13.9 | 13.5 | 13.5 | 5.9 | 3.8 | 3.6 | 3.5 | 2.3 | 0.8 | 2.5 | 6.2 | 8.6 |
| 1 視覚障害 | 191 | 49.7 | 28.3 | 17.3 | 21.5 | 9.9 | 16.8 | 8.4 | 4.7 | 5.2 | 3.1 | 1.6 | 3.1 | 1.0 | 8.4 | 7.3 |
| 2 聴覚・言語障害 | 261 | 56.3 | 27.2 | 20.3 | 14.9 | 7.3 | 14.6 | 8.4 | 3.4 | 4.6 | 3.1 | 3.4 | 1.5 | 1.9 | 8.0 | 15.3 |
| 3 肢体不自由 | 1,156 | 67.6 | 24.0 | 21.5 | 13.7 | 11.1 | 14.4 | 5.1 | 4.1 | 4.6 | 3.5 | 1.9 | 0.5 | 3.0 | 6.7 | 7.6 |
| 4 内部障害 | 664 | 74.5 | 25.5 | 26.5 | 12.5 | 21.7 | 11.3 | 5.7 | 2.6 | 1.1 | 3.9 | 2.4 | 0.3 | 2.0 | 4.4 | 6.0 |
| 5 その他 | 54 | 66.7 | 13.0 | 22.2 | 9.3 | 25.9 | 9.3 | 5.6 | 7.4 | 3.7 | 0.0 | 3.7 | 0.0 | 5.6 | 5.6 | 9.3 |
| 6 無回答 | 108 | 50.0 | 20.4 | 16.7 | 12.0 | 4.6 | 11.1 | 4.6 | 6.5 | 2.8 | 4.6 | 2.8 | 0.9 | 2.8 | 4.6 | 21.3 |

(9) 福祉サービスについて

各種福祉サービスの利用状況

あなたは、次のような福祉サービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。(1)～(13)のサービスについてそれぞれお答えください。

最も利用率が高いサービスは「補装具の交付・修理」で、約3割(30.9%)の人が「利用したことがある」と回答している。次いで「心身障害者タクシー料金助成事業」が30.2%、「心身障害者自動車燃料費助成事業」が25.0%と続いている。

利用状況 (全体 N=2,434)

| | 利用したことがある | 知っているが利用したことはない | 制度を知らない | 無回答 |
|---------------------------|-----------|-----------------|---------|------|
| (1) 補装具の交付・修理 | 30.9 | 29.3 | 15.3 | 24.5 |
| (2) 日常生活用具の給付・貸与 | 16.9 | 33.4 | 19.6 | 30.1 |
| (3) ホームヘルプサービス(滞在型) | 8.9 | 41.3 | 16.9 | 32.9 |
| (4) ホームヘルプサービス(24時間巡回型) | 3.1 | 44.9 | 18.2 | 33.9 |
| (5) デイサービス | 11.6 | 42.7 | 15.2 | 30.5 |
| (6) 緊急一時保護(家庭等一時的な保護) | 1.8 | 31.8 | 31.2 | 35.2 |
| (7) 施設緊急一時保護(施設等での一時的な保護) | 3.3 | 32.4 | 29.5 | 34.8 |
| (8) 訪問入浴サービス | 5.5 | 52.9 | 9.2 | 32.4 |
| (9) 住宅改造費に対する補助 | 10.2 | 40.3 | 17.4 | 32.1 |
| (10) 酸素購入費助成事業 | 1.6 | 24.8 | 38.0 | 35.7 |
| (11) 心身障害者タクシー料金助成事業 | 30.2 | 33.0 | 11.6 | 25.1 |
| (12) 心身障害者自動車燃料費助成事業 | 25.0 | 30.4 | 14.2 | 30.4 |
| (13) ガイドヘルパー派遣事業 | 3.0 | 24.7 | 38.1 | 34.3 |

障害の種類別にみると、視覚障害と内部障害では「心身障害者タクシー料金助成事業」が、聴覚・言語障害と肢体不自由では「補装具の交付・修理」が最も多くあげられている。

利用状況(障害の種類別:上位5項目)

| | N | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|---------|-------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------|
| 視覚障害 | 191 | 心身障害者タクシー料金助成事業 36.6 | 補装具の交付・修理 30.4 | 日常生活用具の給付・貸与 28.8 | ホームヘルプサービス(滞在型) 14.1 | デイサービス 12.0 |
| 聴覚・言語障害 | 261 | 補装具の交付・修理 37.2 | 心身障害者タクシー料金助成事業 23.4 | 日常生活用具の給付・貸与 18.8 | 心身障害者自動車燃料費助成事業 18.4 | デイサービス 10.0 |
| 肢体不自由 | 1,156 | 補装具の交付・修理 38.4 | 心身障害者タクシー料金助成事業 29.8 | 心身障害者自動車燃料費助成事業 27.5 | 日常生活用具の給付・貸与 21.0 | デイサービス 16.0 |
| 内部障害 | 664 | 心身障害者タクシー料金助成事業 34.3 | 心身障害者自動車燃料費助成事業 29.8 | 補装具の交付・修理 18.2 | 日常生活用具の給付・貸与 6.5 | デイサービス 4.1 |

各種福祉サービスの利用意向

あなたは、今後、次のような福祉サービスを利用したいと思いますか。(1)～(13)のサービスについてそれぞれお答えください。

最も利用意向が高いサービスは「心身障害者タクシー料金助成事業」で、約4割(39.4%)の人が「今後、利用したい」と回答している。次いで「補装具の交付・修理」が30.7%、「心身障害者自動車燃料費助成事業」が29.0%と続いている。

| | 利用意向 (全体 N=2,434) | | | |
|---------------------------|-------------------|--------------------|-----------|------|
| | 今後、 利用した い | 今後、 利用した くない | わからな い | 無回答 |
| (1) 補装具の交付・修理 | 30.7 | 4.5 | 27.2 | 37.6 |
| (2) 日常生活用具の給付・貸与 | 26.0 | 5.0 | 29.3 | 39.8 |
| (3) ホームヘルプサービス(滞在型) | 15.9 | 6.7 | 36.8 | 40.7 |
| (4) ホームヘルプサービス(24時間巡回型) | 14.0 | 6.9 | 39.1 | 40.1 |
| (5) デイサービス | 17.5 | 7.5 | 35.5 | 39.4 |
| (6) 緊急一時保護(家庭等一時的な保護) | 12.9 | 6.6 | 39.7 | 40.8 |
| (7) 施設緊急一時保護(施設等での一時的な保護) | 13.7 | 6.6 | 38.9 | 40.8 |
| (8) 訪問入浴サービス | 13.6 | 10.3 | 35.3 | 40.8 |
| (9) 住宅改造費に対する補助 | 25.0 | 5.6 | 30.1 | 39.3 |
| (10) 酸素購入費助成事業 | 7.8 | 8.3 | 41.5 | 42.4 |
| (11) 心身障害者タクシー料金助成事業 | 39.4 | 4.5 | 20.4 | 35.7 |
| (12) 心身障害者自動車燃料費助成事業 | 29.0 | 7.0 | 23.8 | 40.1 |
| (13) ガイドヘルパー派遣事業 | 10.0 | 6.2 | 42.9 | 41.0 |

実際の利用状況と利用意向を比べてみると、「補装具の交付・修理」を除いたすべてのサービスで、利用意向が利用状況を上回っている。その差が最も大きいのは「住宅改造費に対する補助」で、実際には10.2%の人しか利用していないが、今後は25.0%の人が利用したいと回答している。

| | 利用状況と利用意向の対比 (全体 N=2,434) | | |
|---------------------------|---------------------------|--------------|-------------|
| | 利用したこ とがある | 今後、 利用したい | 差 (ポイント) |
| (1) 補装具の交付・修理 | 30.9 | 30.7 | -0.2 |
| (2) 日常生活用具の給付・貸与 | 16.9 | 26.0 | 9.1 |
| (3) ホームヘルプサービス(滞在型) | 8.9 | 15.9 | 7.0 |
| (4) ホームヘルプサービス(24時間巡回型) | 3.1 | 14.0 | 10.9 |
| (5) デイサービス | 11.6 | 17.5 | 5.9 |
| (6) 緊急一時保護(家庭等一時的な保護) | 1.8 | 12.9 | 11.1 |
| (7) 施設緊急一時保護(施設等での一時的な保護) | 3.3 | 13.7 | 10.4 |
| (8) 訪問入浴サービス | 5.5 | 13.6 | 8.1 |
| (9) 住宅改造費に対する補助 | 10.2 | 25.0 | 14.8 |
| (10) 酸素購入費助成事業 | 1.6 | 7.8 | 6.2 |
| (11) 心身障害者タクシー料金助成事業 | 30.2 | 39.4 | 9.2 |
| (12) 心身障害者自動車燃料費助成事業 | 25.0 | 29.0 | 4.0 |
| (13) ガイドヘルパー派遣事業 | 3.0 | 10.0 | 7.0 |

障害の種類別にみると、いずれの障害においても「心身障害者タクシー料金助成事業」をあげる割合が最も高く、特に肢体不自由（41.2%）と内部障害（42.8%）では4割を超え高くなっている。

利用したいと考えている人の割合（障害の種類別：上位5項目）

| | | N | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|---------|--|-------|-------------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|----------------------|
| 視覚障害 | | 191 | 心身障害者タクシー料金助成事業 36.1 | 補装具の交付・修理 30.9 | 日常生活用具の給付・貸与 28.3 | 住宅改造費に対する補助 22.0 | 福祉サービスの利用意向 20.4 |
| 聴覚・言語障害 | | 261 | 心身障害者タクシー料金助成事業 33.7 | 補装具の交付・修理 33.3 | 日常生活用具の給付・貸与 26.4 | 心身障害者自動車燃料費助成事業 21.5 | 住宅改造費に対する補助 15.7 |
| 肢体不自由 | | 1,156 | 心身障害者タクシー料金助成事業 41.2 | 補装具の交付・修理 36.9 | 日常生活用具の給付・貸与 33.0 | 心身障害者自動車燃料費助成事業 31.6 | 住宅改造費に対する補助 30.2 |
| 内部障害 | | 664 | 心身障害者タクシー料金助成事業 42.8 | 心身障害者自動車燃料費助成事業 33.9 | 住宅改造費に対する補助 21.2 | 補装具の交付・修理 20.8 | 日常生活用具の給付・貸与 14.6 |

「ホームヘルプサービス（滞在型）」、「デイサービス」、「緊急一時保護」、「施設緊急一時保護」の4つのサービスについて、障害の程度別に利用意向をみると、いずれのサービスにおいても、中・軽度に比べて重度（1・2級）の利用意向が高くなっているが、中・軽度でもそれぞれ1割以上が利用を希望している状況がうかがえる。

利用したいと考えている人の割合（障害の程度別：4サービス）

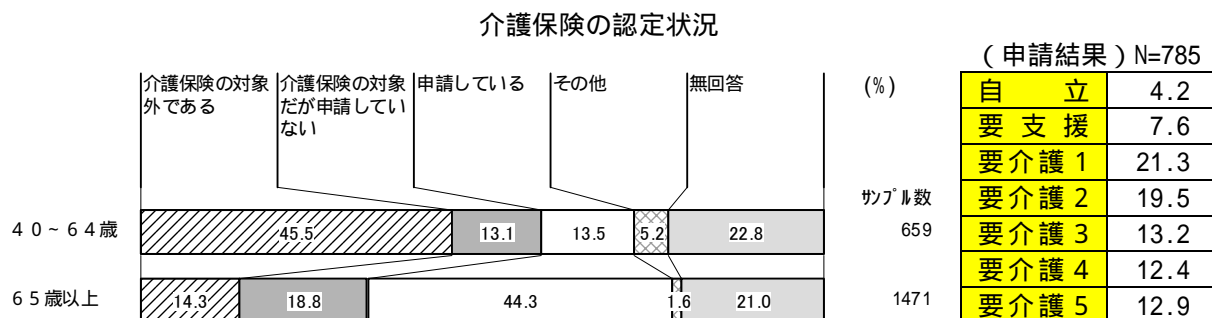
| | | N | ホームヘルプサービス（滞在型） | デイサービス | 緊急一時保護 | 施設緊急一時保護 |
|----|----|-----|-----------------|--------|--------|----------|
| 重度 | 1級 | 775 | 20.0 | 20.3 | 15.9 | 17.2 |
| | 2級 | 430 | 19.3 | 21.2 | 15.8 | 15.8 |
| 中度 | 3級 | 373 | 12.1 | 15.5 | 8.8 | 12.3 |
| | 4級 | 498 | 12.7 | 15.5 | 10.2 | 11.0 |
| 軽度 | 5級 | 144 | 10.4 | 11.8 | 11.8 | 11.8 |
| | 6級 | 91 | 16.5 | 16.5 | 13.2 | 8.8 |

(10) 介護保険のサービス利用について

介護保険の認定状況

あなたは、介護保険の認定申請をしていますか。(は1つ)

65歳以上の44.3%、40～64歳の13.5%が介護保険の申請をしている。認定結果については、要介護1が21.3%と最も多い。



身体障害者手帳に掲載されている障害の程度と要介護度との関係を見ると、3級～6級は「要介護1」が最も多いが、2級では「要介護2」が、1級では「要介護5」がそれぞれ最も多くなっている。

身体障害の程度と要介護度の関係

| | N | 自立 | 要支援 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|
| 1級 | 289 | 3.5 | 6.2 | 15.2 | 17.3 | 14.5 | 14.5 | 20.4 |
| 2級 | 207 | 3.9 | 3.9 | 19.3 | 26.1 | 15.0 | 15.5 | 10.6 |
| 3級 | 113 | 9.7 | 11.5 | 25.7 | 15.9 | 16.8 | 6.2 | 6.2 |
| 4級 | 95 | 2.1 | 18.9 | 33.7 | 10.5 | 7.4 | 10.5 | 5.3 |
| 5級 | 25 | - | - | 40.0 | 12.0 | 12.0 | - | 16.0 |
| 6級 | 17 | 5.9 | - | 35.3 | 17.6 | 5.9 | 11.8 | - |

日常生活動作における介助・援助の必要性(23頁参照)と要介護度との関係を見ると、「重介助」では「要介護2」から「要介護5」がそれぞれ約2割ずつみられる。

日常生活動作における介助・援助の必要性と要介護度の関係

| | N | 自立 | 要支援 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 重介助 | 440 | 0.7 | 1.6 | 10.7 | 21.4 | 19.5 | 20.7 | 20.9 |
| 中介助 | 179 | 3.4 | 11.2 | 38.0 | 25.1 | 8.4 | 3.4 | 1.1 |
| 軽介助 | 74 | 10.8 | 16.2 | 44.6 | 12.2 | 1.4 | - | - |
| 介助なし | 68 | 19.1 | 25.0 | 23.5 | 4.4 | - | - | - |

身体障害の種類と要介護度との関係を見ると、「肢体不自由」では「要介護4」や「要介護5」といった要介護度が高い人が他の障害に比べて高い割合で見られる。

身体障害の種類と要介護度の関係

| | N | 自立 | 要支援 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|---------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|
| 視覚障害 | 67 | 7.5 | 4.5 | 22.4 | 23.9 | 14.9 | 9.0 | 7.5 |
| 聴覚・言語障害 | 73 | 5.5 | 9.6 | 16.4 | 13.7 | 17.8 | 9.6 | 12.3 |
| 肢体不自由 | 467 | 2.6 | 4.5 | 21.6 | 20.8 | 14.1 | 13.9 | 16.1 |
| 内部障害 | 113 | 8.8 | 19.5 | 19.5 | 16.8 | 8.8 | 9.7 | 2.7 |
| その他 | 22 | - | 18.2 | 22.7 | 18.2 | 9.1 | 9.1 | 18.2 |

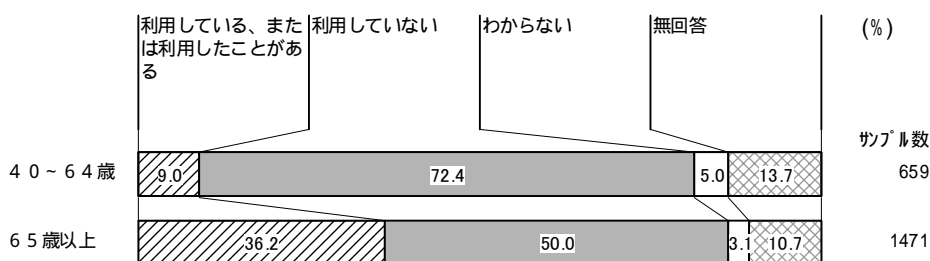
介護保険のサービスの利用状況

あなたは、介護保険のサービスを利用していますか。(は1つ)

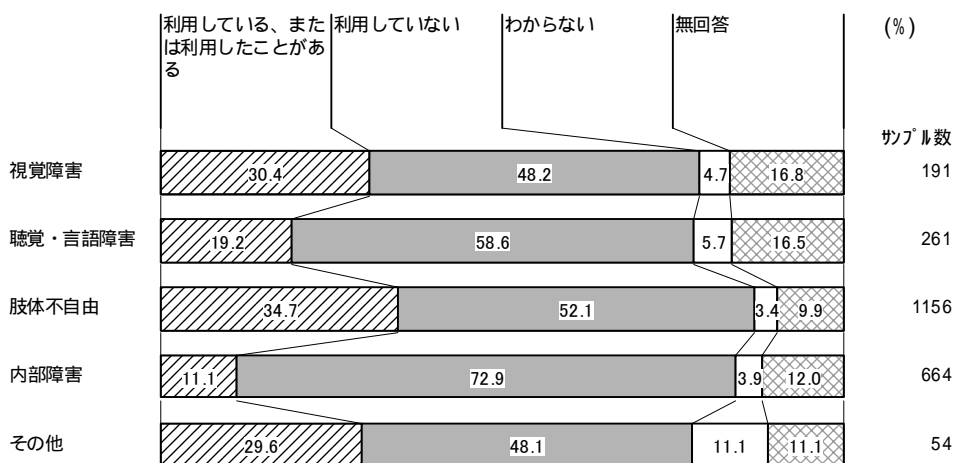
65歳以上の36.2%、40～64歳の9.0%が、介護保険のサービスを「利用している、または利用したことがある」と回答している。

障害の種類別にみると、「利用している、または利用したことがある」割合が高いのは、肢体不自由(34.7%)と視覚障害(30.4%)で、それぞれ3割を超えている。

介護保険サービスの利用状況(年齢別)



介護保険サービスの利用状況(障害の種類別)



(11) 障害者理解について

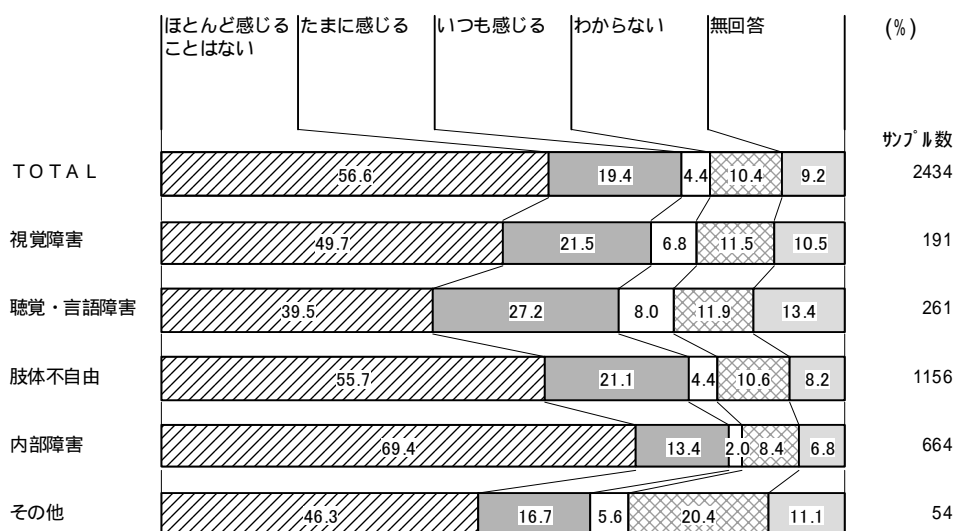
差別や人権侵害を感じた経験の有無

障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。
(は1つ)

障害があることで差別や人権侵害を受けていると感じることがあるかを尋ねたところ、56.6%の人は「ほとんど感じることはない」と回答しているものの、「たまに感じる」(19.4%)と「いつも感じる」(4.4%)をあわせると2割以上の人は障害を理由とした何らかの差別や人権侵害を感じていることがうかがえる。

障害の種類別にみると、「たまに感じる」と「いつも感じる」をあわせた割合が最も高いのは聴覚・言語障害の35.2%、最も低いのが内部障害の15.4%となっている。

差別や人権侵害を受けた経験



差別や人権侵害の具体的な内容

具体的には、どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じますか。
(自由記入)

街中での周囲に人の態度(ジロジロ見る、心ない言葉を言われる等)や、乗り物での乗務員の態度、職場での処遇等に関して、差別や人権侵害を受けていると感じているケースが具体的に数多くあげられている。また、障害別の特徴としては、聴覚障害の場合はコミュニケーション・情報の取得に関する事、内部障害では障害が表面化していないことによる周囲の配慮の無さ等があげられる。

[具体的な記入内容]

(職場などで)

- ・アルバイトの面接で障害を理由に落とされた。(25歳、内部障害)
- ・サラリーマン時代、初任給、昇給とも障害者であるため低かった。(77歳、聴覚障害)
- ・職業等で制限がある。(15歳、聴覚障害)
- ・会社でいくら頑張っても昇格がない。(40歳、聴覚障害)

(乗り物の中などで)

- ・エレベーターでボタンを押してほしいと言ったらしいが、聞こえなかったため相手は怒りぶたれた。(54歳、聴覚障害)
- ・(車いすで)タクシーに乗るとき非常に不親切な対応を何度もされた。(その他、78歳)
- ・バス、タクシーで手帳を提示すると嫌な顔をする人がいる。(47歳、肢体不自由)
- ・バスの運転手の早くしろとの態度、発進等。(78歳、内部障害)
- ・バスの行き先を運転手に聞いても、書いてあると言う。(78歳、視覚障害)

(店や病院などで)

- ・車いすでは入れない店がある。(69歳、肢体不自由)
- ・レストランに入ったとき、困った顔をされることがある。(68歳、肢体不自由)
- ・旅館、ホテルの大浴場でまわりの人がよける。(62歳、肢体不自由)

(その他)

- ・「見えない人はこれはできないだろう」と決めつけられることがある。(39歳、視覚障害)
- ・アパートの物件探して大家に断られた。(39歳、その他)
- ・あまりに気をつかわれすぎたとき。(50歳、肢体不自由)
- ・道路で邪魔扱いされるとき(車いす)。(70歳、肢体不自由)
- ・コミュニケーションが難しいため、近所づきあいが難しい。(36歳、聴覚障害)
- ・「かわいそうに」と哀れみを言われる。(49歳、肢体不自由)
- ・テレビ等の情報が保障されていない。(15歳、聴覚障害)
- ・ペースメーカーを埋め込んであるので30cm以内の携帯電話。(80歳、内部障害)
- ・様々な場所で困って問い合わせた際、相手が自分と話さず、介護人とだけで話を済ませようとするとき。(40歳、肢体不自由)
- ・街で手話で話すとまわりにジロジロ見られる。(27歳、聴覚障害)
- ・赤ちゃん言葉で話かける。(63歳、肢体不自由)

(12) 将来のことや暮らし全般について

将来の暮らしで不安に感じていること

将来の暮らしで不安に感じていることがあれば自由にお書きください。

将来の暮らしで不安に感じていることとしては、「一人になったとき（介護者がいなくなったとき）の生活に関する不安」や「健康状態の悪化、障害の重度化」をもとにする内容が多くなっている。特に本人、介護者がともに高齢者の場合は、本人のみならず介護者の健康状態への不安も数多く上げられている。

[具体的な記入内容]

（経済的なこと）

- ・もっと介護が必要になったとき、経済的に大丈夫かどうか。（内部障害）
- ・経済的にやっていけるかどうか不安。（40歳、内部障害）
- ・収入が少ないこと。（57歳、肢体不自由）
- ・収入は年金のみなので、医療費の高騰や介護費が心配。（62歳、平衡機能障害）
- ・高齢者の保険料、医療費の負担が上がること。（75歳、内部障害）

（身体の状態、健康状態に関すること）

- ・いつかは障害の程度が悪化するのではないかと不安。（63歳、肢体不自由）
- ・いろいろ病気の合併症が出てきたときが不安。（64歳、内部障害）
- ・このまま寝たきりになり痴呆が進むこと。（85歳、内部障害）
- ・歩けなくなること。（52歳、内部障害）
- ・排泄処理を他人（家族を含む）に頼らざるを得なくなること。（60歳、肢体不自由）
- ・これから先、何回か手術を繰り返す必要があり不安。（58歳、肢体不自由）
- ・失明の心配。（60歳、視覚障害）

（介護者に関すること）

- ・一人になったどうするか。（47歳、音声・言語・そしゃく機能障害）
- ・家族が入院などで自分の面倒をみれなくなったときのこと。（69歳、肢体不自由）
- ・介護者も年々高齢になり、今後何年間、現状を維持できるか、また介護サービスはどう変わるのか不安。（67歳、肢体不自由）
- ・よいヘルパーにめぐり会えるかどうか。（68歳、視覚障害）

（緊急時の対応に関すること）

- ・一人でいて病気で倒れたときが不安。（75歳、視覚障害）
- ・もし突然倒れたらとても不安。（76歳、視覚障害）
- ・一人暮らしなので緊急時の連絡方法に不安がある。（72歳、肢体不自由）
- ・介護してくれている家族の健康。（66歳、肢体不自由）
- ・近くに子どもが住んでいるが全面的には世話になれないので不安。（58歳、肢体不自由）

（住居や施設など暮らす場所に関すること）

- ・一人暮らしができない状態になったとき、施設に入りたいが受け入れ体制が心配。（76歳、肢体不自由）
- ・施設への入所申請をしているがいつになったら入所できるか不安。（66歳、肢体不自由）

- ・ 将来この段差のあるマンションで生活できなくなったとき。(50歳、肢体不自由)
- ・ 体が動かなくなったとき入所できる施設があるか心配。(66歳、聴覚障害)
- ・ 家賃が年々上がるので、いつまで現在の公団住宅にいられるか。(66歳、肢体不自由)
- ・ 寝たきりや痴呆になったとき、すぐに入れる病院、施設があるか心配。(74歳、肢体不自由)

(就労に関すること)

- ・ 自分の体にあった仕事があるか不安。(36歳、肢体不自由)
- ・ 身体的理由により会社をいつクビになるか不安。(54歳、肢体不自由)
- ・ 就職先が不安定で失業しそう。(30歳、肢体不自由)
- ・ 就職が難しい。(19歳、肢体不自由)
- ・ いつまで働けるか不安。(58歳、肢体不自由)

(結婚に関すること)

- ・ 結婚できるか不安。(43歳、肢体不自由)
- ・ なかなか結婚相手がみつからない。(30歳、肢体不自由)
- ・ 結婚をしたいとき「障害者」という扱いがつきまとう。(29歳、肢体不自由)

(その他)

- ・ 透析入院する施設が少ないのが不安。(61歳、内部障害)
- ・ 事故や災害のとき、他人や肉親に迷惑をかけること。(66歳、肢体不自由)
- ・ 年金制度が継続していくか不安。(59歳、肢体不自由)
- ・ 夫婦ともに身体が不自由になったときに対応するサービスが受けられるかどうか。(69歳、内部障害)
- ・ 学校卒業後の進路。(8歳、肢体不自由)
- ・ 近くにかかりつけ医がないので不安。(85歳、内部障害)
- ・ 現在の家に風呂がない。今後、移動のことを考えると不安。(68歳、肢体不自由)
- ・ 自立して暮らせるかどうか心配。(12歳、聴覚障害)
- ・ 自立するようになってからのお金の管理、介護人の確保。(22歳、肢体不自由)

将来、望む暮らし方

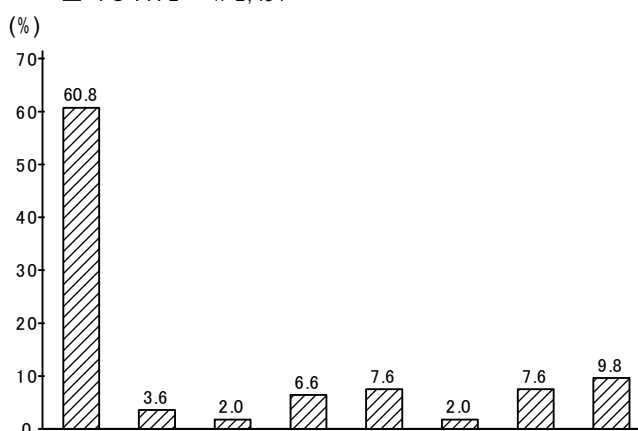
将来、あなたはどのような暮らしをしたいですか。(は1つ)

将来、望む暮らし方については、全体の約6割(60.8%)が「現在の家族と一緒に暮らしたい」と考えているが、40歳未満では4割弱が「結婚して家庭をつくって暮らしたい」と回答している。

現在、一人暮らしの人についてみると、約4割(40.3%)は「一人で暮らしたい」と回答しているものの、1割は「障害のある人が入所する施設や福祉ホームで暮らしたい」と考えていることがうかがえる。

将来、望む暮らし方

▨ TOTAL N=2,434



| | | N | 1 現在の家族と一緒に暮らした | 2 結婚して家庭をつくって暮ら | 3 気の合う知人や友人と一緒に | 4 や福祉のある人が入所した施設 | 5 一人で暮らしたい | 6 その他 | 7 わからない | 8 無回答 |
|---|--------|-------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------|----------|------------|----------|
| 0 | TOTAL | 2,434 | 60.8 | 3.6 | 2.0 | 6.6 | 7.6 | 2.0 | 7.6 | 9.8 |
| 1 | 0~17歳 | 44 | 20.5 | 38.6 | 2.3 | 6.8 | 6.8 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 2 | 18~39歳 | 125 | 34.4 | 37.6 | 4.8 | 0.0 | 8.8 | 0.8 | 8.8 | 4.8 |
| 3 | 40~64歳 | 659 | 66.5 | 3.0 | 3.2 | 4.2 | 6.2 | 2.4 | 8.2 | 6.2 |
| 4 | 65歳以上 | 1,471 | 61.9 | 0.1 | 1.3 | 8.6 | 8.3 | 2.0 | 6.7 | 11.2 |
| 5 | 無回答 | 135 | 59.3 | 1.5 | 0.7 | 3.0 | 5.9 | 1.5 | 8.1 | 20.0 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|
| 1 | 自分一人だけで暮らしている | 330 | 5.5 | 8.2 | 6.1 | 10.0 | 40.3 | 4.2 | 14.5 | 11.2 |
|---|---------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|

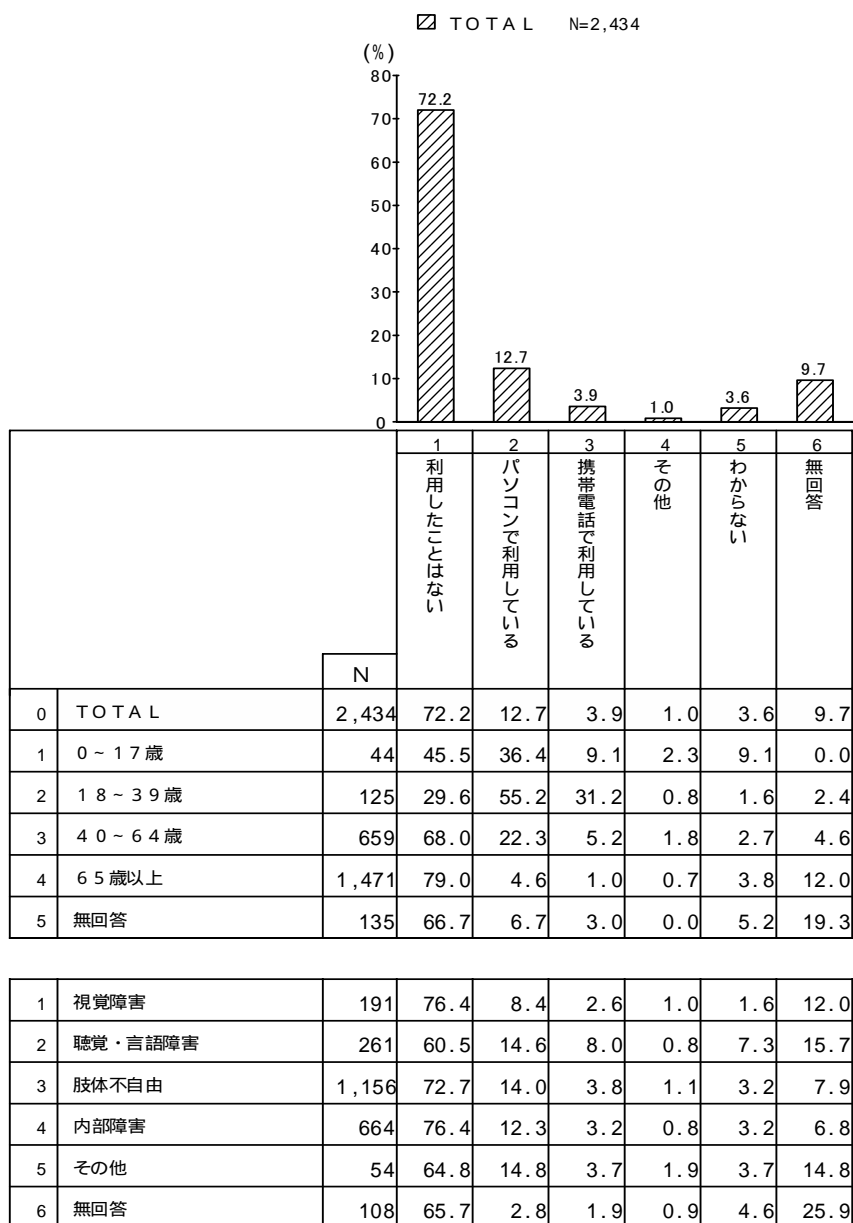
インターネットの利用状況

あなたは、家庭や職場などでインターネットを利用することがありますか。(はいくつでも)

パソコンでインターネットを利用している人は、全体では12.7%であるが、「18～39歳」では55.2%と半数を超えている。「18～39歳」は「携帯電話で利用している」人も31.2%と多く、約7割はインターネットを利用している状況がうかがえる。

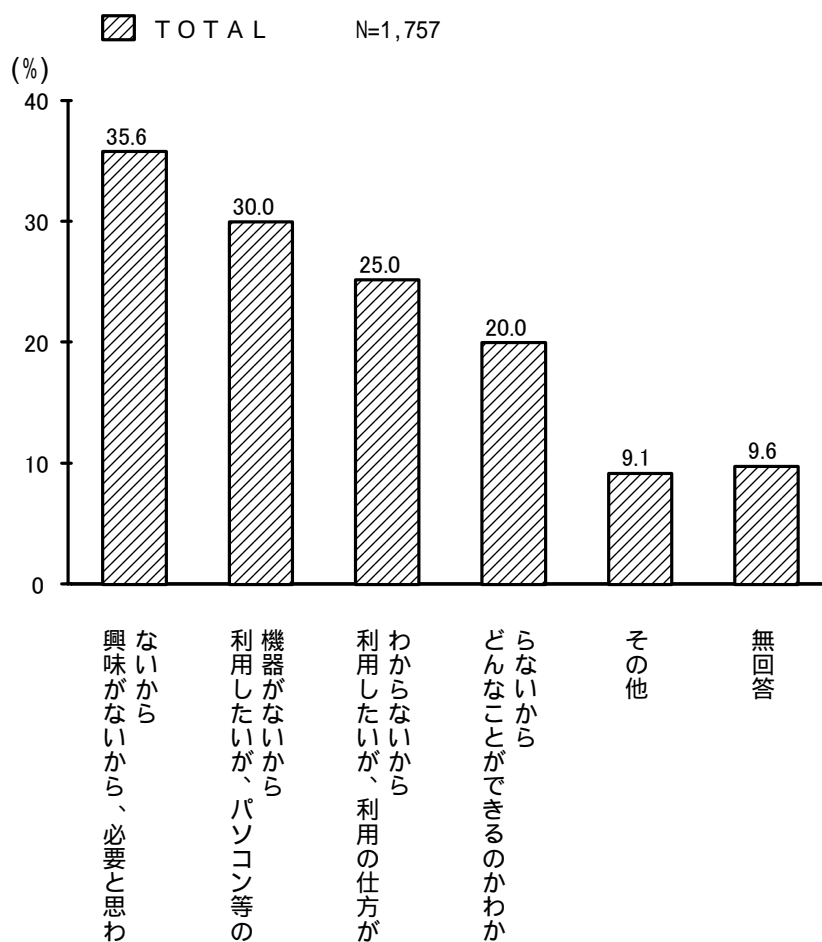
障害の種類別にみると、インターネットを最もよく利用しているのは「聴覚・言語障害」で、特に携帯電話での利用が8.0%と他の障害に比べて高くなっている。

インターネットの利用状況



インターネットを利用していない理由としては、「興味がないから、必要と思わないから」が35.6%と最も多く、ついで「利用したいが、パソコン等の機器がないから」(30.0%)、「利用したいが、利用の仕方がわからないから」(25.0%)と続いている。

インターネットを利用していない理由



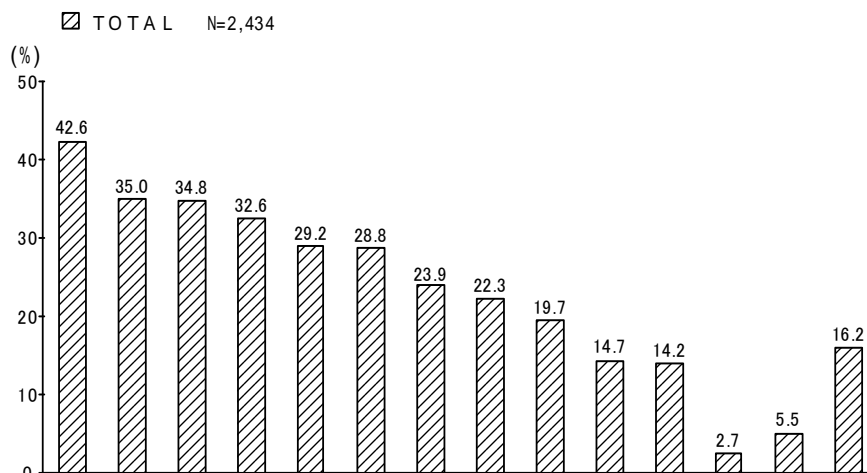
必要な災害対策

地震や台風などの災害に備えて、今後、どのような対策が必要だと思いますか。
(はいいくつでも)

地震や台風などの災害に備えて、今後、必要だと思う対策としては、「避難しやすい避難場所を整備する」をあげる人が42.6%と最も多い。

障害の種類別にみると、他の障害に比べて高い割合であげられている項目としては、視覚障害では「避難時の視覚・聴覚障害者に配慮した情報提供を行う」(52.9%)「避難時の介助人などを確保する」(35.6%)「避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する」(23.6%) 聴覚・言語障害では「避難時の視覚・聴覚障害者に配慮した情報提供を行う」(37.9%)「避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する」(23.4%) 肢体不自由では「避難時の障害者用設備(トイレ、ベッド等)を配置」(45.3%)「避難時の介助人などを確保する」(34.8%) 内部障害では「避難時の人工透析等、生命安全・維持装置を配置する」(37.2%) などがある。

必要な災害対策



| | N | 必要な災害対策 (%) | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 0 TOTAL | 2,434 | 42.6 | 35.0 | 34.8 | 32.6 | 29.2 | 28.8 | 23.9 | 22.3 | 19.7 | 14.7 | 14.2 | 2.7 | 5.5 | 16.2 |
| 1 視覚障害 | 191 | 40.8 | 31.4 | 36.6 | 31.4 | 35.6 | 29.3 | 52.9 | 18.8 | 22.0 | 13.1 | 23.6 | 0.0 | 5.2 | 14.1 |
| 2 聴覚・言語障害 | 261 | 39.5 | 23.0 | 29.5 | 28.7 | 19.9 | 28.7 | 37.9 | 14.9 | 20.7 | 15.7 | 23.4 | 1.9 | 7.3 | 21.5 |
| 3 肢体不自由 | 1,156 | 44.4 | 45.3 | 36.8 | 33.1 | 34.8 | 29.0 | 21.5 | 16.4 | 20.9 | 15.5 | 13.9 | 3.3 | 6.0 | 15.2 |
| 4 内部障害 | 664 | 44.3 | 24.2 | 35.2 | 35.1 | 22.1 | 30.1 | 16.1 | 37.2 | 18.4 | 14.8 | 9.5 | 2.7 | 4.7 | 12.7 |
| 5 その他 | 54 | 38.9 | 31.5 | 29.6 | 31.5 | 29.6 | 33.3 | 14.8 | 22.2 | 14.8 | 11.1 | 11.1 | 3.7 | 3.7 | 20.4 |
| 6 無回答 | 108 | 26.9 | 28.7 | 23.1 | 23.1 | 23.1 | 14.8 | 16.7 | 17.6 | 11.1 | 8.3 | 8.3 | 1.9 | 1.9 | 38.0 |

望まれる障害者施策

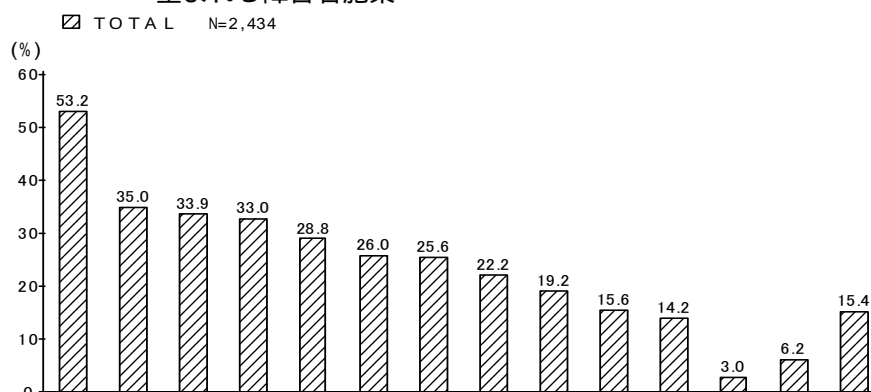
今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。あてはまるものすべてにをつけてください。
(はいくつでも)

今後、望まれる障害者施策としては、「障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりの推進」をあげる人が53.2%と最も多い。

障害の種類別にみると、視覚障害では「ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスの充実」をあげる割合が42.9%と他の障害の比べて高く、聴覚・言語障害では「インターネットを利用する等、情報提供を充実させること」が18.8%と他の障害に比べて若干高くなっている。

年齢別にみると、18歳未満では「障害のある子どもの可能性を最大限にのばせる教育を進める」(90.9%)と「障害のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(72.7%)などの割合が他の年代に比べて高く、「18～39歳」では「インターネットを利用する等、情報提供を充実させること」の割合が45.6%と他の年代に比べて特になくなっている。

望まれる障害者施策



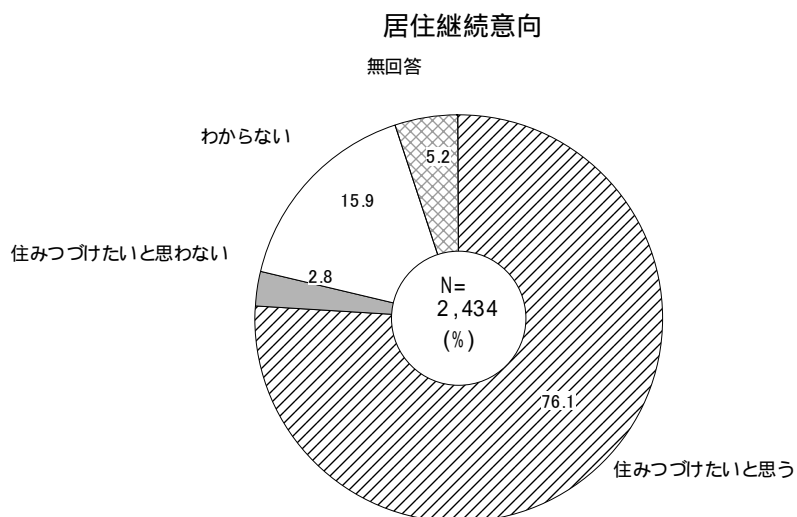
| 障害者種類 | N | 施策 | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 0 TOTAL | 2,434 | 53.2 | 35.0 | 33.9 | 33.0 | 28.8 | 26.0 | 25.6 | 22.2 | 19.2 | 15.6 | 14.2 | 3.0 | 6.2 | 15.4 |
| 1 視覚障害 | 191 | 57.1 | 37.7 | 42.9 | 37.2 | 32.5 | 23.6 | 29.3 | 22.5 | 20.9 | 16.2 | 11.5 | 3.1 | 5.8 | 13.1 |
| 2 聴覚・言語障害 | 261 | 46.4 | 34.9 | 21.8 | 30.7 | 27.6 | 23.8 | 28.4 | 20.7 | 18.4 | 18.4 | 18.8 | 1.9 | 7.3 | 20.7 |
| 3 肢体不自由 | 1,156 | 56.3 | 36.8 | 38.0 | 36.8 | 31.7 | 26.6 | 28.1 | 25.9 | 21.5 | 16.9 | 15.3 | 3.3 | 5.4 | 14.2 |
| 4 内部障害 | 664 | 51.8 | 34.3 | 30.4 | 28.9 | 25.6 | 28.0 | 21.4 | 18.8 | 16.9 | 13.7 | 12.2 | 2.9 | 7.8 | 11.9 |
| 5 その他 | 54 | 59.3 | 33.3 | 31.5 | 33.3 | 31.5 | 31.5 | 22.2 | 22.2 | 14.8 | 16.7 | 22.2 | 1.9 | 3.7 | 16.7 |
| 6 無回答 | 108 | 35.2 | 17.6 | 25.0 | 15.7 | 13.0 | 13.9 | 12.0 | 6.5 | 10.2 | 5.6 | 3.7 | 3.7 | 3.7 | 40.7 |

| 年齢 | N | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|----------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
| 1 0～17歳 | 44 | 68.2 | 72.7 | 43.2 | 38.6 | 90.9 | 40.9 | 63.6 | 38.6 | 43.2 | 20.5 | 20.5 | 4.5 | 0.0 | 0.0 |
| 2 18～39歳 | 125 | 52.8 | 67.2 | 33.6 | 52.0 | 52.8 | 38.4 | 48.0 | 28.0 | 24.0 | 30.4 | 45.6 | 4.8 | 0.8 | 4.0 |
| 3 40～64歳 | 659 | 54.0 | 48.1 | 31.6 | 40.2 | 34.9 | 27.6 | 29.7 | 24.4 | 19.6 | 20.0 | 19.4 | 4.1 | 5.3 | 8.6 |
| 4 65歳以上 | 1,471 | 53.6 | 26.6 | 35.2 | 28.9 | 23.2 | 24.5 | 21.3 | 21.3 | 18.8 | 12.8 | 9.4 | 2.6 | 7.0 | 18.0 |
| 5 無回答 | 135 | 40.0 | 20.7 | 27.4 | 23.0 | 17.8 | 17.0 | 17.8 | 10.4 | 10.4 | 9.6 | 9.6 | 0.0 | 8.9 | 35.6 |

西東京市への居住継続意向

今後も西東京市に住みつづけたいと思いますか。(は1つ)

今後も西東京市に住み続けたいかを尋ねたところ、76.1%が「住み続けたいと思う」と回答しており、「住み続けたいと思わない」は2.8%にとどまっている。



今後も西東京市に住み続けたいと思う理由は、「現在の住所が西東京市にあるから」が57.1%と最も多く、次いで「交通の便がよいから」(31.9%)、「親や近親者が近くに住んでいるから」(31.2%)、「自然が多く残っているから」(25.9%)と続いている。

居住継続理由

